(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)

京城日報

十三日夕刊

定價　本紙一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢　三ヶ月金壹圓六拾五錢

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通二丁目　合資會社 京城日報社

◎後任朝鮮總督　長谷川元帥に內定

長谷川元帥は十三日午前十時二十分宮城內內閣に寺內首相を訪問したるが會見の內容は朝鮮總督後任問題に關するは勿論なる事にして首相元帥懇談の結果同元帥就任に內定せし由(東京特電)

◎日本の對支質問　米支大運河浚渫借欵に就き

日本政府は昨年締結の山東省に關する條約に鑑み這回米國資本家と支那政府との間に締結せる大運河浚渫借欵に就き支那政府は千八百九十八年獨支兩國間に締結せる條約第三章の規定を如何に解釋し居るやと質問せりと其回答如何に依りては更に交涉開かるゝに至る可し(北京特電)

◎蒙匪大敗巴將戰死

十二日交通部に達したる電報に依れば林西に於て蒙匪と姜桂題の軍隊との衝突あり蒙匪大敗し巴布札布將軍は遂に戰死せり(北京特電)

◎米海商船被擊沈因由

華盛頓來電＝米國沿岸附近に於て商船數隻の擊沈せられたるは英國巡洋艦が米國領海に接せる大西洋通商航路より撤退せるに由るものにして此撤退は英國軍艦の斯の如き巡邏を以て米國を侮辱し且つ無作方と認むる處なりとせる米國政府の緊急抗議に從へるなり今回の米獨關係の機微は實に此點にあり(紐育電報)

◎米國の回答と擊沈事件

ロイテル社の探聞する處に依れば、聯合國の覺書に對する米國の回答は米國沿海に於ける擊沈事件發生に先ち送致せられしものなり(倫敦電報)

◎希臘終に要求を容る　聯合國に艦隊要塞鐵道を委ぬ

雅典來電＝希臘政府は聯合國の要求を容れて其艦隊を聯合國に引渡し諸要塞の武備を解きパイリアス、ラリツサ間の鐵道の管理を委ぬるに至る可し(倫敦電報)

◎聯合國の對希硬態度

佛國諸新聞紙の暗示する處に依ば、聯合國は希臘に對し強硬の態度を執る可し(倫敦電報)

◎英國輿論　新內閣對支態度の誤解

英國の新聞雜誌界は新に成立せる寺內內閣が高壓的態度を以て支那に望むべしと解したるも全く誤解に過ぎずと解釋されつゝあり(倫敦電報)

◎內閣會議開催

十三日午前十時內閣にて寺內首相以下各大臣會合內外政務に付協議する處ありたり(東京電報)

◎井上侯に陪食

前駐英大使井上勝之助侯は十三日宮中にて午餐陪食を仰せ付けられたり(東京電報)

◎隈侯國府津行

大隈侯は十三日午前八時東京驛發國府津の別邸に赴けり(東京電報)

◎西園寺侯西行

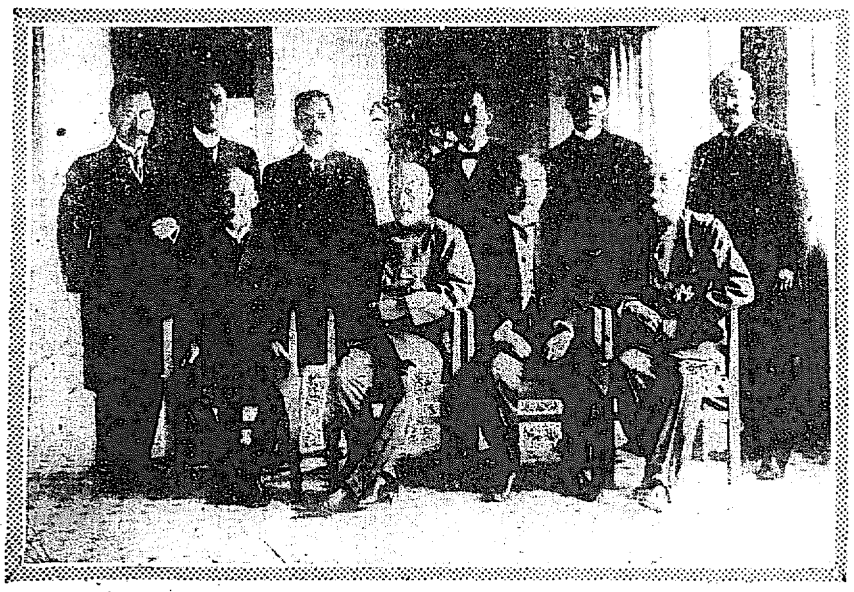
滯京中なりし西園寺侯は十三日午前東京驛出發京都に向ふ(東京特電)

◎後藤男伊勢行

後藤內相は十三日東京出發三重縣に出張し立太子式後東宮殿下伊勢大廟行啓の下檢分をなすに決せり(東京電報)

◎地方官の更迭

十三日地方官の更迭あらんと傳へらる(東京電報)



新首相以下一堂に會す　十日首相官邸に於て

◎(前列右より)大島陸相、後藤內相、寺內首相、松室法相、(後列右より)兒玉內閣書記官長、池邊秘書官、田遞相、岡田文相、有松法制局長官、仲小路農相

◎國民黨代議士會

國民黨は十二日午後五時より上野精養軒に於て代議士會を開き犬養總理以下在京代議士院外團等約七十餘名出席幹事長の挨拶終るや犬養總理は寺內內閣に對する黨の態度に就き概略左の如き演說を爲せり(東京特電)

寺內內閣に對する我黨の態度は今更ら聲明するの迄も無く極めて明白なるが此所に一言し置く可し元來憲法政治は議院政治なり政黨政治なり然るに寺內內閣の如き不自然なる內閣が如何にして生れたるか其原因を考ふれば寧ろ其責元老に有りと云はざる可からず而して一面に於て政黨の無氣力にも有りと云はざる可からず即ち元老は其責を果さず政黨自己の權威を認めざる耳ならず其力を活用せざるの罪に歸せざる可からず要するに一總體論よりすれば新內閣の如きは一日も存在するを許さゞる可し然し乍ら其原因に就て稽め其施設方針に徵し其經過に就て暫く監視するも強ち無益に非ざる可し

◎釜山御乘船

閑院宮殿下には十三日午前六時十分官民軍隊學校生徒等多數の盛んなる奉迎裡に釜山驛に御著直ちに連絡船高麗丸に御搭乘遊ばされ出帆迄山縣政務總監等に謁を給ひ軈て六時四十分ともなれば嚠喨たる喇叭に連れて棧橋に堵列せる奉送者の最敬禮裡に御召船は徐々に棧橋を離れ港口に向へば殿下には甲板上に御起立奉送者に擧手の御答禮を給ふ折柄太陽は水平線上に現はれ壯觀云はん方なし波高けれど天氣洵に晴朗なり(釜山特電)

◎釜山の政務總監

山縣政務總監は閑院宮殿下奉送後龍頭山を見十三日午前十時半發列車にて歸任せり(釜山特電)

◎軍司令官動靜

秋山駐劄軍司令官は閑院宮殿下奉送後釜山守備隊を檢閱し午後十二時半發檢閱の爲馬山に向へり(釜山特電)

◎首相へ記念品　李王家よりの謝意

李王家にては寺內前總督の朝鮮統治に對する功勞を多とし其の謝意を表せん爲め李王職美術品製作所をして朝鮮特有の美術品を製作記念品として新首相に寄贈することゝなり目下製作所と協議計畫中なるが多分大花瓶一對となるべしと

◎政務總監歸任

閑院宮殿下に扈從釜山に奉送せし山縣政務總監一行は十三日午後九時南大門驛著汽車にて歸任の筈なり

◎總監代理參葬

故秋山視學官の葬儀は十三日午後五時自邸出棺大和町觀數院に於て執行せられたるが小松前長は山縣政務總監代理として葬儀に列し又た宇佐美內務部長官以下同部內高等官學務局員一同も參列せり

◎靈前へ花環

故秋山視學官の葬儀に當り山縣政務總監、宇佐美內務部長官並に同部內高等官一同は何れも花環一個を其の靈前に供ふる所ありたり

◎長官部長奉送

工藤平南長官篠田部長及び瀧平南警務部長は十月十二日遣露大使の宮殿下を定州驛迄御出迎申上げ御召列車に隨ひ黑橋驛迄御奉送申上げたり又た黃海道長官趙羲聞氏は道書記高田熊吉氏を隨へ又黃海道警務部長は副官を隨へ閑院宮殿下御奉迎の爲め十一日午後四時來壤旅館柳屋に投宿十二日午後二時宮殿下を平壤驛に奉迎し同列車にて京城迄御奉送申上げたり(平壤)

◎長官會議休會

十三日は定例長官會議日なりしも當日は政務總監不在の爲め休會となれり

◎簡易保險案

朝鮮に施行する簡易保險法案に關する用務を帶び久數東上中なりし遠藤郵便貯金管理所長の談によれば同法案は目下時日を定め內務省大藏省法制局の各參事官書記官等參集審議を凝し今冬の議會に提案するやう諸準備を進めつゝあり予は滯京期間中同案の精神に付諸種の說明を試たるが結局議會提案までに原案に多少の修正を蒙むるは止むを得ざるべし例へば保險最高額の如き三百圓となし居れど內地同樣二百五十圓に減せらるべきかと

◎鮮銀神戶開店期

朝鮮銀行の神戶支店は八月十三日總督より設置命令到達し居れど諸種の都合上延引し居る次第なるが昨今同支店在勤となるべき行員は全部神戶に集まり開業に關する準備を進めつゝある由なれば多分來る二十日より開店するに至るべしと

◎小原長官來田

小原忠南長官は御歸朝の閑院宮殿下奉送の爲め成歡より乘車大田まで奉送し中川旅館に投宿せり

◎野田副總裁北行

東拓副總裁野田卯太郎氏は十三日午前九時十分南大門發列車にて五龍背溫泉に赴きたるが歸期は明らかならざれど兩三日後なるべしと

◎岩本法院長歸任

京城地方法院長岩本以明氏は內地へ旅行中の所十二日午前歸任したり

◎關屋局長快癒

關屋學務局長は其後も引き續き注吉黑左衞門新田に假寓中なるが慢性の神經衰弱も殆ど快癒し昨今にては不眠に陷るが如き憂なきに至れりといふ

◎室谷博士陞敍

京城衛戍病院長醫學博士室谷脩太郎氏に對し九日附左の如く陞敍あり

敍從五位　正六位勳四等功五級醫學博士　室谷脩太郎

◎牛皮は弱含

先頃來露軍靴行き惱みの爲め四五圓方低落せる牛皮界は昨今安報を傳へ中皮百斤六十六七圓見當を唱ふるに至りたるが最近京阪地方よりの報に依れば假令第三回露藏券成立するとも軍需品中特に必須のもの、外は新規注文の成立を見る事仲々覺束なからんとの觀測も行はれつゝあれば前途幾分弱含みの商狀なりと

◎仁川米豆取引所上半期成績

仁川米豆取引所に於ける本年四月より同九月に至る上半期營業成績を聞くに當期開市日數は百五十四日にして賣買したる定期米の總高は七百三十八萬五千五十石なり之に前期繰越高四萬七千八百五十石を加へ七百四十三萬二千九百石の內轉賣買高七百二十四萬千二百五十石にして八萬一千四百石は期日受渡を了し殘高十一萬二百五十石は次期に繰越せり而して當期間に於ける相場の最高は十一月限十三圓九十五錢(八月十一日)最低五月限十圓五十六錢(四月一日)にして其の高低値開きは三圓三錢なり尙本期の營業成績は極めて良好にして前期に比すれば賣買高百九十八萬二千六百石賣買手數料二萬二百七十一圓十錢雜收入三千九百三十六圓三十八錢を增し記錄破れるの盛況を呈したり

◎朝郵重役會

朝鮮郵船會社にては既報の如く十二日樓上に重役會を開き原田社長吉田專務深尾堀山口各取締役參集の上會社第五期決算案を協議決定し直ちに之れを印刷に附せしが總會は來る二十六日開催の事に確定其の旨株主に通知を發せり

東清鐵道線より

◇窰們驛にて(九日)長城生

九日午後六時、東清鐵道南部線卽ち長春哈爾賓間第一の繁華なる窰們驛に著し候。當驛は第二松花江南岸を距る十哩餘の處にて、東清南部線中第一の農產物集散地にして、東清鐵道の附屬地二十五萬坪あり、露國の守備隊鐵道病院附屬鐵道警察、機關庫等あり、露國人の居住者軍隊警察鐵道從業員其家族及び商人等合して五千餘名、日本人は二十五戶八十一名の居住者あり、職業は賣藥商十八戶、料理屋四戶、穀商一、旅館一、別に領事館巡查派出所あり、巡查一名駐在す、支那人は冬期農產物集散期には一萬人夏季三千人の居住者あり、農安縣の通ずる道路に御座候

◎國有林拂下許可

京城府は府の基本財產造成の目的を以て曩に國有林野の一部拂下を其筋に請願中なりしが此程高陽郡延禧面の延禧山なる國有林四十八町餘の拂下を許可されたるを以て府は之に對し來年度より補樹を行ふことゝなりたり

◎府稅收納事務所

京城府にては府稅納入者の便宜を圖り鍾路消防隊詰所、高陽郡廳、京城銀行內に臨時收納事務所を設けたれば附近の納稅者は京城府に出頭を要せず同所に納稅すべしと

◎酒商褒賞授與式

京城酒商組合は每年の恒例により十四日午後五時より京城ホテルに於て模範店員褒賞授與式を行ふことゝなりたり今年の受賞者は七名なりと

◎秋季運動會禁止

京城府內に於ける各官公立學校は每年秋季に於て運動會を開催し來りたるも本年は虎疫流行のため一時見合せ中なりしが虎疫は漸次終熄に近づきつゝあるも尙ほ多數の群集は危險なりとし遂に本年は絕對に運動會を行はざることゝなりたりと

◎告知書約束郵便配布

京城府の納稅告知書は公共團體を除きたる他の個人に對しては約束郵便法により配布し來りたるが今回更に學校組合の戶別割に付ても府同樣約束郵便法に改正し本期に配布すべき分より實行することゝなりたりと

元山

▲元山最近戶口　元山府內に居住せる內地人の戶口に就き客月中元山警察署の調查せるを見るに一千八百三十戶、六千八百八十七人にして內男三千五百四十三人、女三千三百四十四人なるが之れを六月末現在數に比較する時は戶數に於て三戶、人口に於て一百十五人の增加を示し居れり▲商議豫算却下　過般漸く評議員會の審議を經たる上其筋に提出中なりし元山商業會議所豫算案、賦課徵收方法、缺追補は今回又々符箋を附して再議すべく却下せられたり▲鐵道と武術道場　元山鐵道俱樂部に於ては從來の武術道場に增築を施し今回道場開きの式を擧行したるが今後は一週間に三回宛元山警察署より劍術教師を招聘し斯道の練習をなす由

仁川

▲關東都督府囑託　關東都督府囑託坂幸太郎氏は十三日來仁水產會社東山農場其他市場狀況を視察したり▲久水府尹入京　久水府尹は防疫事務其他打合せの爲め十三日入京即日歸任したり▲普通學校開校　仁川普通學校に於ける臨時休業は十二日迄なりしが二日間延期し十五日より開校する事となれり▲松元署長巡視　松元署長は十三日午前より近島に於ける防疫狀況視察の爲め出張同日歸任したり▲久保觀雅氏講演　朝鮮布教の途にある久保觀雅氏は十三日午後七時及び十四日午後一時より仁川高野山遍照寺に於て講演をなす可し▲防疫隊一部引揚　仁川花平里の警戒は十三日午前中解かれたるを以て警戒中の防疫隊の一部は同日仁川を引揚げたり▲米豆取引所株主總會　仁川米豆取引所にては十二日午後一時より定時株主總會を開會したり來會者十五名委任狀提出者十五名にて定刻社長飯田延雄氏議長となり上半期間に於ける收支決算其他議案を議したる後臨時總會を開き役員任期滿了に就き改選を行ひたるが結局釜山十八銀行支店長に赴任したる森監查役を除き何れも重任にて新監查役として田中佐七郎氏選任されたり

大田

▲鑑札下附數　獵期に入りてより大田警察署にて獵銃鑑札二十枚を下附したるが尙ほ出願者あるべき見込みなりと▲除隊人員數　第七十九聯隊本年滿期兵は約九百名にて內大田よりは約百四十名の由▲少將出發　第四十旅團長金久保少將は十二日午後三時三十分發列車にて歸邱せり▲中村氏逝去　大田郡財務主任中村兵吉氏は十二日午前八時過ぎ登廳し執務中腦充血を起し卒倒せしを以て佐藤、原の兩醫師の診察を受けたるも其効なく逝去せり▲各區協議會　來る十六日より演習の爲め步兵七十八聯隊全部集合の爲め宿舍割及び錦山道路改築寄附金の件に付昨今各區共協議中なり

釜山

▲貿易研究會例會　東亞貿易研究會十月例會は去る十一日午後三時より會議所內商工俱樂部に於て開會、大池會長開會の辭に次ぎ過般會議所派遣員として浦鹽北滿地方視察中なりし石原源三郎氏より釜山の貿易發展策として先づ浦鹽、哈爾賓に商況の調查を兼ねたる釜山の共同委託販賣所の如きものを開設するの必要ありと報告し右機關の設置方法費用支出方等に付大池會長より石原氏外五名の委員を指名して調查を附議する事とし其れより自由港問題運賃問題等に付意見を交換したる後五時頃散會したるが釜山の共同販賣所設置案の成行は注目に値する一問題たるべし▲輕鐵測量進行　朝鮮輕鐵會社第一期線たる大邱浦項間六十哩の實測は去る七日を以て大邱を距る四十哩なる慶州まで進行したり本年中には線路敷設工事に著手すべき見込みなりと▲釜山法院の出張所開設　從來各府郡廳に於て取扱ひ來りし不動產登記事務並に新に公證事務を取扱ふべき釜山地方法院出張所は同院管內(慶尚南道)に於て梁山昌寧金海宜寧咸安咸陽陜川山德の八出張所は既に開廳され未開所の陜川、河東、南海固城の四箇所は過日來石躍監督書記出張中にて略廳舍決定せしに付近く開廳を見るべしと▲商女校の補習科設立　釜山高等女學校にては曾て設けたりし技藝科は大正二年度限り廢止し來りし所卒業生の裁縫に關する實力充分ならざる點あるに鑑み大正六年度より修業年限一箇年の補習科を增設して卒業生に裁縫家事其他を教授すべき計畫あり多分實行を見るべき模樣なり

人事消息

▲李根相男爵　十二日水原へ
▲笠井工學博士　十二日夜入京京城ホテルへ
▲塙逐明氏(警務部警視)　十二日桔都洞より歸任
▲李夏榮子爵　十二日鐵原へ
▲國分司法部長官　十二日元山より歸任
▲篠參與官(京畿道)　十三日午前平澤へ
▲菱田通譯官　十三日午前東京へ
▲岡正矣氏(京畿事務)　十三日朝木浦馬山へ
▲岡本嘉三郞氏(開城郡長兼務)　十五日午前出發赴任の筈
▲荻田悅造氏(總務課長)　江原道管內に出張中なりし同氏は十四日歸任の筈
▲谷本伊太郎氏(麥酒汽船會社取締役)　十三日朝奉天へ
▲コサンチ氏(佛商人)　同上
▲ペーカー氏(米商人)　同元山へ

第二松花江畔まで

我が新しき權利の地

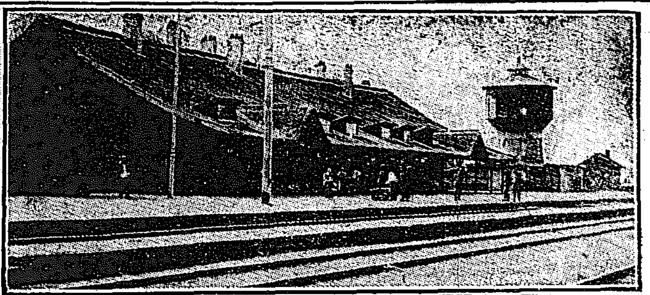
◇一、寛城子驛あたり

北へ北へと進み行く日本品、日本人
堤防のやうに積まれた大豆袋
ピストルを手にした車掌

九日寛城子驛前にて 特派員 勝村長平

午後三時四十分、長春驛發哈爾賓行東淸鐵道列車に乘込むべく、自分は長春驛構內東方なる東淸鐵道連絡驛の待合室に這入らうとした、待合室とはほんの名ばかりで、二つばかり置いて在るベンチを眞中にして傍を通られても怖ろしいやうな穢さ苦るしい

□支那人勞働者が何百人となく人山を築いて居る、何んとも形容の爲難い惡臭が窓や戶口から渦を卷いて外へ流れ出す其の邊りから籠だの箱だの蒲團だのと云ふ彼等の荷物が山の如に積上げられて居る、其先の方へ行くと、大きな堤防のやうに袋入の大豆が集積されて居る、これは東淸沿線から大連及び大連を經て內地等へ輸出される大豆であつて未だ出廻り時期ではないがそれでも毎日十五六貨車內外の大豆を輸送して來ると云ふ、東淸沿線行きの貨物の中には日本製の日用雜貨が非常に多い日本品と共に北へ發展して行く日本人の活動の縮圖も亦此プラットフォームで見る事が能きる若い女が大きな包を抱て飛び廻つたり、支那人を指揮して



寛城子驛

□非常に澤山の荷物を汽車の中に運び込んで來る日本人も尠くなかつた軈て列車は寛城子驛を發して連絡荷客の積取りの爲めに長春驛に這入つて來た、寛城子驛は東淸鐵道南部線の終點驛であつて長春驛との間は僅かに一哩餘、つい目の先きに白い兵營と赤塗の停車場や給水タンクなどが見ゆる 長春寛城子間は滿鐵と東淸鐵道との列車が交互に往復して兩鐵道の連絡荷客の積取りを爲て居る、故に長春構內に在る東淸鐵道の連絡所と同じ稍構內にも滿鐵の設備が寛城子驛の構內にも在つて滿鐵へ連絡する荷客の便を圖つて居る譯である、旅館のボーイが切符と

□交換した貨ごを持つて來たから自分はそれを受取つて一等室へ乘つた、長春を北に一歩進むと今の處露西亞の金でないと鐵道附屬地內では一寸も通用しない戰爭以來俄に値打を下げた露貨は常に相場の高低が有が今では日本の一圓が露貨一留二十四五哥と換られる事になる之れが戰爭前までは露貨一留は日貨の一圓三四錢に當たのであつたが歐洲戰爭の勃發後露國政府は財政上の都合から兌換を停止したから不換紙幣として著しく信用を墜し一時は一留が我五十二錢位まで下落した事も有つた而しながら之れは一時的の現象であつて戰後露國の財政狀態が戰前の通りに恢復すれば勿論政府は紙幣の兌換を行ふべく留の價格も亦以前の通りになるであらう故に

□露國が戰爭に於て常に連戰連勝して有利なる戰爭の終局を結ぶ事が能きると見込みがつけば戰爭中でも露貨の相場は再び元通り或はそれに近い價格に歸る譯であるボーイから受取つた露貨は銅貨銀貨紙幣等取り交せて隨分持つのに厄介であつた、露貨の種類は銅貨に一哥二哥三哥五哥の四種銀貨に五十、十五、二十、二十五、五十哥及び一留の七種紙幣は一留より三、五、十、二十五、百、五百留の七種に式つて居る。驛の軒に懸けて在く風鈴形の鐘が二つ鳴ると出發用意の合圖であるが、大都の支那人は未だ此の時も乘り切れず後れ馳せに驅け付けた者が歐米人や日本人の乘る二等又は三等車に喰り付でも爲やうものなら

□上からピストルを持つた車掌が突落す下から憲兵が引摺り下すと云ふ風である二等三等の支那人乘車室は歐米人及び日本人の乘込む客室の後に連結されて居る鐘が三つ鳴るとこれを發車の合圖として汽車は長春驛を離れ直ちに右に曲つて寛城子驛に著した汽車が著くと驛では鐘を一つ鳴らして著車を報らせる

●滿洲の野の大演習

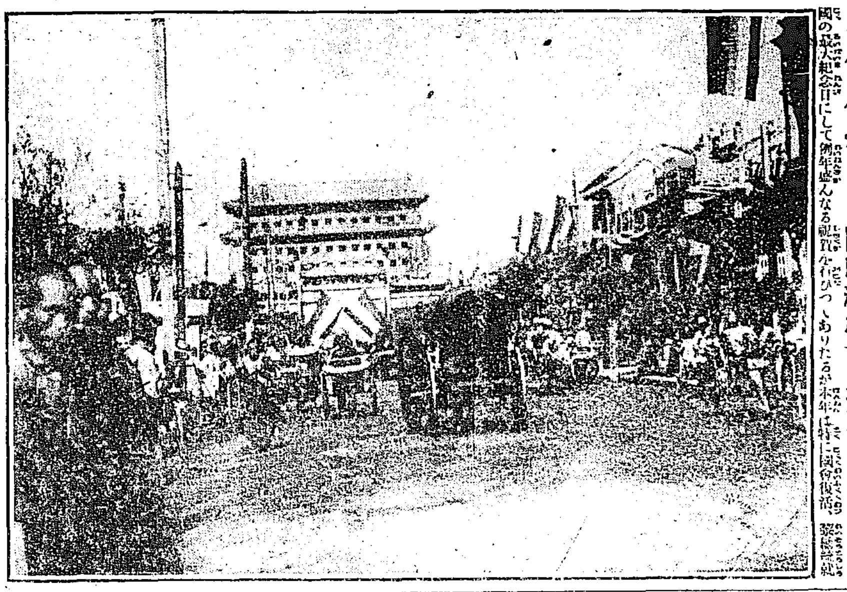
愈々十三日より舉行せらる

駐滿第十七師團秋季機動演習は豫定通り十三日より十五日に至る三日間平原演々たる公主嶺長春間において舉行されつゝあり、

▲大演習の統監は中將星野金吾氏にして其の統監部は幕僚、管理部、經理部、軍醫部、獸醫部中央及び南北專屬より成り而して南北兩軍の編成は各混成旅團となし南軍は佐藤少將指揮の下に步兵第四十一聯隊(神戶大佐)步兵第五十四聯隊(香谷大佐)及び騎兵一個中隊、砲兵一個大隊工兵一個中隊を隷屬せしめ北軍は松浦少將指揮の下に步兵第二十一聯隊(秋月大佐)步兵第六十三聯隊(森部大佐)及び騎兵一個中隊、砲兵一個大隊、工兵一個中隊隷屬し兩軍は公主嶺を集合地點とし北軍は長春を集合地點となすものなり南北兩軍は去る九日を以て既に

▲各集合地に到着し戰備今や全く整ひ將校以下兵卒の士氣頗る旺盛にして正に衝天の槪あり十日十一日は兩軍とも足馴らし的に旅團長統監の下に聯隊對抗演習を行ひ十二日は一日休養し斯くて十三日より三日間に亙り在滿一萬の貔貅こゝを先途と攻守大に努め南軍は北軍の南下を邀擊して一擧に粉韲せんとし北軍は之れに對し縱橫奇策を用ひて對抗し公長平野に極めて壯烈なる遭遇戰を見るの段取なるが演習終了後の十六十七兩日は更に盛大に行はるべく猶ほ此の機動演習には參謀本部より特に部員山本少佐を館派し同少佐は統監部附として觀戰すべく日露戰役に鴨綠江軍司令官として各地に轉戰せる川村元帥も遙々此の演習の壯觀を見るべく來滿し中村關東都督も亦閑院宮殿下奉迎後直ちに此の演習を觀る筈にて旅大方面よりも他に多くの參觀者ありたり(大連)

▲師團假設演習をなすべく右終りて統監たる星野師團長は長春北端に於て閱兵分列式を行ひ式後將校全部を集めて演習經過の講評をなし次いで大宴會を開催すべし演習後の大宴會は十七日午後三時長春驛三等待合所において在滿日滿支文武官民の重なるもの數百名を請待し



□五色に色彩られたる國慶紀念日の北京 十月十日是れ支那共和國の最大紀念日にして例年盛んなる祝賀を行ひつゝありたるが本年は特に國會復活、黎總統就任第一の紀念日なるを以て皇城の公園及び宮殿は開放せられ重なる城門牌樓に五色の飾り付けを施し要路には新たに彩樓を起し戶戶五色の國旗を揷し小商人全市悉く業を休み之れを祝しつゝあり、寫眞第一は卽ち五色の彩樓にして第二は祝賀せる北京の景況なり

●臺灣の模型圖

立太子式に獻上

臺灣より立太子式に獻上す可き竪四尺橫三尺五寸の銀と銅とを以て美麗に製作せる臺灣模型圖は十二日商船亞米利加丸にて門司へ著し直ちに鐵路東京へ送れり(門司特電)

●胎封山の塔下を發掘す

約三百年前 李朝の太祖が臍帶を封せし地

全羅北道錦山郡秋富面馬田里胎封山は約三百年前李朝の太祖が臍帶を封せし地なる由にて苔蒸せる多寶塔の如き物あり同地は大田より錦山に通ずる通路にあるを以て鮮人一般に崇敬し參拜するもの絕えざりしに九月三十日頃何者か同所を發掘しありたるを本月三日に至り同郡憲兵分隊錦能亭出張所の知る所となり大田憲兵分隊上所里憲兵出張所に應援を求め協力して搜査中なるも未だ犯人逮捕されず尙塔下には何物となく只小さき甕ありて其蓋に維大歲癸酉甲寅朔辛酉日丙時入安の朱字ありしと(大田)

▲淸州の豫防注射 忠北淸州衛生組合にては今回忠北警務部よりコレラ豫防注射液の配與を受け八日は內鮮各旅館料理店飲食店營業主及び全部の使用人に對する注射を行ひ十日は一般內鮮人希望者に對して無料注射をなしたるが十日の注射人員は四百八名に達し尙ほ鮮人希望者多數ありたり(淸州)

▲忠南 忠南瑞山郡近興面程竹里漁夫金星玉(六)は九日午前三時發病檢診の結果コレラと決定十日午後四時遂に死亡せり(公州)

▲麻浦其他續發

▲麻浦 李文杜長男李順千(五)は午後死亡十日疑似、同洞金永植(五)は十日午後發病十一日午前死亡眞正、金昌植長女金根順(七)十日發病十一日死亡眞正、李相元(四)も同樣眞正、崔鳳漢長女崔八部(六)二十一日午後發病疑似

▲高陽郡 龍江面上水逸里孫億應(三)倉前里李萬化(五)東幕上里丁基淳(六)は十二日何れも眞正、兆淳は十二日午前死亡、纛島面纛島里崔福姜(三)東幕上里金老馬(八)上亭里金愛(三)は何れも十一日午後眞正、東幕上里具德和(三九)十二日發病疑似

▲龍山 二村洞上田第太郎內縁の妻杉本みき(三四)は七日發病十二日午前九時眞正と決定せり

▲郡部を襲ふ 猖獗を極めたる大邱の虎疫は漸次減退して十一、二兩日は一人の新患者なく小康を呈し居れるが病毒は遂に郡部を襲ひ八日高敞郡中谷面に一人の疑似患者を出すに至り官民協力防疫中なるが同患者は九日死亡せり(大邱)

▲仁川警戒區域縮少 仁川に於ける虎疫は全く終熄を告げたるもの丶如く四五日來患者全く發生せず從つて各方面より來援したる警部も續々引揚げつゝ有るが十三日は虎疫最も猖獗を極めたる花平里も其の一少部分を除きたる外は全部戒を解きたれば仁川署管內の警戒を解くも茲數日を出でざる可しと(仁川)

●横著な醫生 京城昌信洞醫生權寧國(六〇)は九月二十六日高陽郡崇仁面石串里金萬吉の病死したるに對し檢案をなさずして死亡診斷書を交付したること發覺し鍾路署にて罰金十五圓に卽決さる

コレラ彙報

▲又も新患者二名

京城市中の虎列拉は殆ど終熄の如き模樣なりしも十三日又も新患者二名發生したり南大門通五丁目六十六番地洪巨福方居虞北豐基郡豐基面生れの白樂善(五)は近日入京したるものなるが十二日コレラの疑ひあり檢便の結果十三日疑似患者として本町署にては消毒交通遮斷等を斷行したり尙蓬萊町二丁目百二十六番地金慶完(三)も一兩日前より吐瀉をなし注意患者として採便檢鏡中十三日午前眞正と決定したれば本町署にては直ちに患者を順化院に送り附近の者に就き健康診斷を行へり

□幕營の夜 三

砲の番と馬の番

『ホウホウ露營は始めてですか、では今夜は吾々と一緒に此處で雜魚寢をしては如何ですな』と口髯の可なり白い步兵第七十七聯隊長のN大佐が、勸めて呉れたのです、けれども步兵の露營ばかりで無く、馬腹の間に潜り込んで、夜を明かす騎、砲兵の方も見たいと思つたので聯隊長にはその旨を告げて、將校幕舍を出ると暮つた空には、相變らず

◇黑い雲が漲てゐて今にも降つて來さうでした。砲兵の露營地は步兵の後衛部隊より更に後方の畑の中でした。夕方既に前線に陣地を定めて來たといふので、三四臺の砲車は柔らかな土の上に太い轍のあとを喰ひ込まして畑の奧の方に駐めてあり、その附近には、短かい棒を地面に突き刺し、それに丈夫な麻繩のやうなものを結びつけた堅牢には逞ましい馬が大きな鼻面を並べて溫順しくしてゐました。夜は馬が役に立たぬので隨がつて野砲兵も

◇夜は行動を起す事

は出來ないのださうです。砲兵は露營地に著くと先何より先きに馬の手當をして、馬糧を與へ、水を飲ませて休ませますと一口に言つてしまへば簡單なやうですけれども、馬具の取り外しから、泥塗れになつた脚を拭うてやつたり、身體の埃りを落してやつたり、馬糧を與るにも前後に區別して與ると、馬同士に僻み心を起して仲が惡くなるので、可なり面倒なものでこれが濟むと人間の寢る幕舍のこしらへそれから炊爨にかゝる段取りなのださうです幕舍が出來て食事も濟むと何人かの不寢番は砲の番馬の番のために表へ出て起きてゐます。交代ではあるが

◇露天に立て夜氣に

襟を濕らせながら、犬の遠吠や、木の葉を鳴らす秋の夜風に言ひ知れぬ寂しさを味はひながら四邊に氣を配つてゐる或る時間には藁を敷寢の假寢の夢を結ぶ人達と同じやうに種々の思ひに耽ける事もあるさうです。こんな時にこそ馬の腹に狹まつて鼻面を撫でてやつたり間食に貰つたパンの殘りを口に入れてやつたり、吾子でも扱ふやうに情をかける優しい幕が開かれるのださうです。かういふ話を中隊の將校に聞かされて露營地を立ち出でました(おけり三好生)

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

▽謎「電車と掛けて」
○良家に使はれた丁稚と解く 心は出ん氣(電氣)で働く(一等先者) 仁川濱田組荷捌部 山本俊夫
▲貧乏人の晩酌ととく 心は湯豆腐に漬物(盛んな都府に附物)
▲陣中の敵狀報告と解く 心は傳騎(電氣)の働きによる 京城 龍田勝郎
▲止まつた柱時計と解く 心はチンチン鳴らしてから動きます 新安州 エフ生
龍山 山家香公

書畫骨董入札
▼十四日下見、十五日午後開札▲
南山町三 佐久聚古堂 電三二三

●福島縣人會 京城在住福島縣人は來る十五日午前十時より南大門通り三丁目ファミリーホテル庭園に於て秋季懇親會を開催する由會費は金一圓にて京城及び地方の同縣人總て參會出席ありたしと

●共謀して 住所不定前科三犯[illegible]に賣却して豪遊し尙兩人は外一箇所[illegible]地の稻の如き[illegible]に打たれて粟の打落[illegible]されし分全部[illegible]

▲暴風警報(十月十三日)

懸賞課題募集規程 ▲用紙は原稿又は罫紙の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名[illegible]

天氣 晴れ時々曇り ▲十月十四日午後六時發

〈演藝案內〉

黃金館 天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 M・カシー商會朝鮮一手代理店 電話一八五二(階上)二六三七(階下)
十月十一日より差替の三大フヰルム ▲實寫 シシリー島の海岸 ▲喜劇 百弗物語 高嶋なるコメディー十八番の出しもの ▲實錄 忍術太郎 全三卷 阿多々仙人より忍術と八疊返しの秘訣を傳授されし豊岡太郎は諸國を遍歷して武名を擧げ可憐の孝女お梅を救けて伊賀の松山八百八狸大山刑部と後藤小源太を討たしむ ▲探偵活劇 アルデンの寶石 近來珍らしきフヰルム ▲新派悲劇 女の鑑 全三卷 妙見山地藏尊前の邂逅[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
十月十一日より秋季特別大興行 ○實寫 戰後の安府 ○滑稽 ○喜劇 同志 △米國アメリカンフヰルム會社傑作 ○活劇 第一彈 全二卷 ○實錄 忠臣藏 全十二卷 ○餘興 少女浪花節「義士銘々傳」[illegible]

御成座 御成町 電二一九一
十月十三日 市川團太郎一座 戀女房染分手綱[illegible]

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約
十月十二日より特別大興行[illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇
○いよいよ十四日より開演 東京浪界之大關 桃中軒桃子改め日の本三都子嬢來る 初日讀物△前座員數名出演△長州萩の夜嵐(神田伯猿)△黑田武士母里太平(日の本三都子孃)○出演者多數に付每夜正六時半開演仕候

らい病 妙藥を教ゆ 切手二錢送れ 大阪南區西清水町四九 山田光治郎

てんかん 病で時々ゆ? ヒキツケ困る方切手三錢送れ永年の病も自宅でなをす最善の良藥を教ゆ 名古屋市中區南小川町 救生舘

一、種袋 貳千個 物品購買公告
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府內ニ於テ國稅地方費納稅者ハ學校組合費年額貳拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ一年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
大正五年六月京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ向ハ本府會計係ニ就キ仕樣書見本等熟覽ノ上十月十五日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ卽時開札ス
契約ハ朝鮮總督府尹金谷充擔當ス
大正五年十月十一日 京城府

捕鳥用 カスミ網 製造
小鳥用六分目三尺棚二棚三間半貳圓五間參圓七間四圓廿錢其他網類一切
東京市下谷區北稻荷町五六五 振替東京二九九六 小木曾商店製網部

池坊 立花生花 華心式盛花 教授 龍山漢江通三丁目

宗匠 今井秀甫氏の盛花

各種染料 染料商 地方より御注文は各洋行品御希望の通り買次可致候 會 後藤商店 京城長谷川町五十八 電話二一八番

增田本店 京城本町二丁目

西川製作所 カタログ御申越次第進呈仕候 東京神田區富松町 振替口座東京三〇一七八番

期米 曾我商店 大阪堂島米穀取引所仲買人

純粹 培養 ヨーグルト 模範 牛乳 場主獸醫肥塚正太 京城西大門町 東亞牧場 (電話二五二番)

…地方へ赴く途中高陽郡恩平面佛光里の路傍にて同郡碌磻面官山里の申某均が布帛を牛に負はせ居眠りし居るを見て之を竊取し京城に持ち來り入質し又は古物屋…

●泰川地方降雹 …方に於て最近降雹あり爲めに農作物の被害少なからざる趣きの由なるが東拓にて施設せし泰川水理組合蒙利…

●連絡船上陸一二等客 山入港對馬丸に於一二等客 一等 塚永碩五郎、岡村乃太郎、椎原末太郎、堀田岩松、下田文吉、外八名 二等 小泉惣藏、近藤うた、外三名、富田兵一

…一等 森八田將一 二等 吹田男八、磯山義郎、齊藤一郎、同典子 同 光一、小川伍三郎、熊田長造、根本龜太郎、橋 三千三、田代虎太、佐々木英萬、西本健次郎

…德原、文川、高原、江原道の沿岸▲警戒出づ、警戒區域、全羅南北道▲慶尙南北道の沿岸及內陸

△一日期間 …同 十八日 同 十九日 同 二十日
△改めて… 同 十九日 同 二十日 同 二十一日
△次回… 同 二十日 同 廿一日

●美果累々たる農場の秋

霧島の東拓農場――虎疫と價格――林檎と葡萄と梨――滿洲方面へ輸出――販賣の酒落

秋の霧島は河畔一帶の果實畑に野菜畑が美しい、道は光熙門から電車で往十里驛前に出で更にコスモス野菊の畔を傳へば三十分間程、路傍に青き大根畑も商梨の戰ぎも共に霧島の秋を語つて居る、昨今東拓農場の

□果樹園は すでに其の盛期を過ぎ先日來の降霜と共に葡萄、梨の類は枝を離れ落ちるものが多くなつた、頃日果樹園の枝を飾るものには晩手の帝國光といふのがあるこれは一冬を穴藏に貯藏して來春四月頃とり出して喰べると充分の甘味が出て美味いといふ、東拓本秋の收穫は苹果百三十萬顆、梨六萬顆、葡萄四千三百貫に上り何れも良好な成績を擧げた、猶ほ附近東拓の移民村でも今年は相當の收穫があり多くは畑のまゝ鮮人の仲買人に賣却したので致却に就いても成功したやうである併し

□今年は春 から夏にかけて非常に雨が多くお剰けに秋の賣出し頃になつて折惡しくコレラが流行する値段が下落するといふ騷ぎ雨の爲には折角の甘味が拔けて死んだ内地同様のものとなつて了つたといふ――元來朝鮮の果實が言ふに言はれぬ獨特の甘味を有つて居るのは一般に大氣が乾燥する御蔭であるが今年は雨の爲めに糖分が三パーセント位も減じたとの事である、東拓で植ゑて居るのは苹果は倭錦、葡萄はブラックハンブルグ、梨は長十郎、明月などが其の主なるもの殊に明月には一顆百八十匁位の逸品が多く普通が百三四十匁平均とは美事な成績と云はねばならぬ、試みに三十五町歩に餘る果樹園の、

□一部を歩 いて見ると梢下には一面の枯葉に埋もれ樹頭には紅顆累々眼もさむる許りの美觀を呈して居る折からカアン〳〵と正午の點鐘を合圖に農園に働らく五十餘人の鮮人人夫が集つて來る、人夫は出盛りには百餘人の者が集るが大人から女子供までそれ〳〵力相當な仕事がある、示されるまゝに滿洲及び哈爾賓方面輸出の苹果荷造場を拜見に及ぶと其處には匁方を一定した苹果が叮嚀に新聞紙に包裝され續いて長方形の木箱に入て籾殼で包み、更に釘付にした木箱は菰包みとして防寒の用意も出來上るのである、哈爾賓及び

□滿洲方面 は將來非常に有望な市場であるが本年はコレラ騷ぎの爲め安東縣の消毒が嚴重で困つたとのこと木箱は東拓の商標に個數と品名と匁方とを記し一目瞭然たる周到な荷造である「何分只今は試驗の時期にあるので餘り儲けはありません哈爾賓の相場は一箱二圓五六十錢、原價は苹果の一箱一圓六十錢とするも新らしい箱代二十四錢、釘代二錢、叺代二錢、菰代五錢それに手間代を加へるとなか〳〵容易ではありません――」とのこと、歸りに見ると畑の開城白菜や大根は美事な出來榮であつた

◇流行の片側帶

△新らしい色彩と模樣

涼しい風が吹いて來ると婦人の帶も白地の麻つたものや地薄のものが次第に影を隱して秋らしい帶が眼立つ樣になつて來ます。此頃の帶襟にはどう云ふ片側帶が流行つて居るかと云ふと

◇地質 はさほど變つた新らしいものが出ない代りに色彩や模樣に於て大分新傾向を帶びて來た樣であります。先づ訪問用としては京鹿子織、厚板織、繻珍、羽二重、繻子地と云ふ處でありますが、中にも京繻織が勢力を占めて居ります。その代表的なものを二三あげて見ますと、地色は茶味を帶びた細地に薄淺黄と白茶を以て四田風の鹿の子をだんだらに配したり、黑地に白の縞り四田を置き、源氏香を散らしたものや、茶地の格子縞に白と黑の

◇水玉 を極單純に置いたものなどがあります。これ等の京繻織は價格十四圓前後で羽二重地では友仙が五圓より七圓位、絞り羽二重が六圓から九圓位迄ですが、黑繻子や博多と腹合せにして相應はしい絞り羽二重地には紺や茶を巧に配合した麻の葉くづし、よろけ縞の中に櫻に漣波を浮き上る樣に絞りあげた意氣向きなどがあります。それからお若向きにはクリーム地の上に雄大な寫生風の花を現はし

◇色彩 は洋風の藍、紅、綠などを濃淡に利かせた樣なものがありますが、これらや派手な總紅色地のものは博多織に多く、昨秋邊りから流行して居る浪影織などには二十圓前後向きまして御納戸地に共色の地紋を織り出し處々に色紙を散らし中に秋草を御所解風に描いたものなどが優れて見良く、價は十二圓五十錢位であります。又遊向きには染茶地、黑地、薄茶地と云ふ樣な地味なものが喜ばれて、これに銀か金色を用ひて細い模樣に品をもたせた風のものが流行の一部として現はれて居ります

●佛領の孤島に我在郷軍人會

在留の邦人約四百人

南太平洋上佛領マカテヤ島に日本人の在郷軍人會分會が出來やうとしてゐる近く設置に達する筈だと云ふが海外に於ける分會設置は之れを以て嚆矢とする同島は南太平洋中央、南回歸線の北、南緯十五度四十九分東經百五十度四十三分に位置し

▲ソサイチ群島 の一たるタヒナ島の東百五十浬の地點にあり長さ四哩半幅二哩の珊瑚礁から成る實に絕海の孤島で本邦からは桑港又は濠洲シドニーを經て渡航する歐洲戰亂前まではユニオン汽船會社所有汽船四隻が往復してゐたが今は船腹不足の爲め只一隻あるのみ住民は一千百人の外支那人歐人等雜居し本邦人は目下約四百名ある何れも三箇年契約移民としてタヒチ島パピエテの大洋洲佛領燐鑛會社に勤めて居るが以前から同社の本邦人監督兼醫師堀井三等軍醫が會長、松本機械技師が副會長となつて

▲七十名の在郷 軍人を會員として非公式に在郷軍人分會を設け相互に親睦を圖ると共に尚武氣風の涵養、品性の向上、海外發展から本邦人を指導するを目的としてゐたが先頃に至つて會長が佛貨若干を東京の本部に送つて分會設置に必要な規則書其他の發送を請求したので初めて此の事が分り本部では直に發送したのであると云ふ絕海孤島の同胞が海外發展の標識として軍人會旗下に一致協力の奮闘を續けてゐる事は慶すべきである

●橫死者追弔會 或る任務を帶び滿洲旅行中客月十三日山城子海龍城間夏家堡子に於て兇徒の爲め非業の死を遂げたる故蒙古武備學堂教授桂德治(長崎縣人)杉山彥行(鹿兒島縣人)伊藤仙次郎(長崎縣人)氏等六名の爲め京龍在留生前の知友相謀りて十三日の忌日を期し午後四時より龍山瑞龍寺に於て其の追弔會を執行する由

△會のいろ〳〵▽

□松原總長湖南線巡錫 松原西本願寺總長は十四日午前八時半南大門發列車にて湖南線方面へ巡錫の筈

□平壤實業青年會 平壤實業青年會員三百餘名は十月十五日箕子陵附近に於て秋期大運動會を執行すべく準備中なり

□平壤小學校運動會 平壤公立尋常高等小學校に於ては十月十五日校庭に於て秋季大運動會を開催する由

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町) 十四日午後二時より豐…行事あり

○天理教(西町) 十三日午後一時より秋季大祭を執行したり

○日本基督教青年會 十四日午後八時より…俱樂部あり

○龍山御旅所(大島町) 十三日午後一時地鎭祭を執行せり

○東本願寺(南山町) 十四日午後一時より婦人大會あり猶ほ婦人會員死亡者の追悼會ある由

たいどころ その日〳〵

△ウニカナッペー 食パンのまはりを切り去りて三分程のあつみに廣く切り皿にならべて牛乳を十分にかけて柔くなる迄置きフライパンにバタを煮とかしてパンを兩面より揚げうにに玉子黃味を加へてよくかきまぜたるを上部にぬりて出す (青木はつ子)

宮本武藏　第百八十六回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

曉雲二天の兩人が話しを聞いて其の場へ來て見ると、成程黑山のやうな人群りである、四隅に杭を打つてそれへ繩引を渡し中央に莚を敷き、眞裸體で立つて居る男は年齡四十位、眼の大きい色の黑いこと年中裸體で稼業をして居りますから日に焦けて身體は澁紙の樣、頭髮は突込み髮にして突立て喋舌て居る、傍の處に單衣を染返して廣袖に仕立たを脫捨て前の處に取り貯た錢は山の如く、才槌に大槌を置いてある 男『さア〳〵お立合、俺は大阪から下つて來た先々御評判に預つた石頭の鐵右衞門と云ふ者だ、是から時々參りますから愛顧にして遣つておくれ、先刻から度々披露をして居るから皆さん御承知だらうが、今入りのお方があるからく〳〵も云ふやのだが才槌が三十六文、大槌が七十二文、代錢は前錢に願ふのじや、此の才槌大槌を持つて俺の頭を打ちなさい、頭で舵度受けて見せる、萬一頭に傷が附き受けられなかつたら代は戾すのじや、さア何誰でも宜いから遣つて見なさい』と喋舌て居る、見物の內から一人出て ○『オイ〳〵俺が一ツ遣つて見る、最初才槌から遣つて見やう』鐵『ハイそれは三十六文』○『ソラ遣るよ、是でお前の頭を打つのかさア宜いかね打つせ』鐵『ハイ宜うございます』○『ドーダと力任せに才槌で鐵右衞門の頭を打つと、ウンと受けた、スルと才槌が刎返りましたから黙いて ○『成程此奴は妙だ、今度は大槌で遣つて見やう』と再び大槌を取つて鐵右衞門の頭を力任せにガンと打つと 鐵『ヤットコイショ』と頭で受けた、恐しいもので大槌が刎返つた、臍を潰して ○『頭に傷は附かねえか』鐵『ヘエ此の通り何ともございません』○『成程是は不思議だ、誰か代つて遣つて見ねエ』○『俺が一ツ遣つて見やう』と代り〳〵に出ては才槌大槌で鐵右衞門の頭を打つが、皆受け止めた、曉雲を最前より見て居りました曉『二天、成程是は不思議だな』二天『左樣でございます、石頭とは能く名附ました、私が一ツ遣つて見ませう』曉『爰しなさい、自分で遣るより他人の遣るを見て居た方が宜い』二『イエ然うでございません』と大勢の見物を搔分け前に出て二天が『コレ〳〵放下師』鐵『ハイ』二『俺が一ツ遣るから大槌を取つてくれろ』鐵『此の大槌の於は七十二文、代は前錢にお願ひ申します』二『宜し〳〵』と財布の中より七十二文の鳥目を出して遣はし、右の大槌を取つて 二『それでは放下師、此の大槌で先方の頭を打つのか』鐵『左樣で、頭の中央を願ひます』二『顏を打つては叶けません、さア宜しいか』鐵『へイ宜しうございます』と兩手を腹帶に挾でウンと力を入れて前に頭を出した、此の時二天は一足後へ退つて左の足を前に出し右の足を後に引いて體を矢筈にとつて右の大槌を上段に振冠つたが、理りなるか此の二天こそ前名宮本武藏正名、十六才の時始めて二刀流を工夫してそれより諸國を修行爲し、名人上手と數度立合、腕前を鍛へたる天下の名人、右衞門の腦天へ狙をつけてウンと睨だ有樣は、流石は劍法者傍に見て居た曉雲は感心をして『宮本は天下の名人如何に石頭と雖どあの勢いで打つたなら、微塵に碎けるであらう、然し二天も考へのある男無暗に人の命は取るまいが』と思つて見て居る周圍に集つて居た見物は是を見て ○『何だね彼の旦那の樣子は、俺等とは違ふぜ、エイと云つて聲を掛ける所は宛で劍術使ひのやうだ』○『劍術遣ひに違ひないしかも關屋の方で』二天は鐵右衞門の頭を望んで睨んで居たが、心の內に汝憎き曲者、衆人の眼を眩して金錢を貪ひ取るのみならず、當所は天下御膝元、將軍の御膝元、それを恐れずかゝる振舞をいたす奴、イデ正體を現はしくれんと、右の大槌を持つて身構へした。

京城本町一丁目　杉本耳鼻咽喉科醫院　電話一二三〇番　醫學士 杉本砂一

京城南大門通三丁目(藤木商店横入る)　入院隨意　胃腸病院　電話一六五九番　院主 佐々木杏造

內科 小兒科 婦人科　京城醫院　本町二丁目浦尾旅館前電話七四二番　村上憲佑

寫眞　出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速且つ丁寧親切を旨とし御高需に應候　京城日報社寫眞製版部

十月十五日 九星　舊九月十八日 乙酉　水命 三碧 東 閉 先負

▲三碧 目先き上手の事有り新事見合の方 ▲四綠 妙策を得る日轉居入學金談に吉 ▲五黃 …吉 ▲六白 …一切のかけ事力禁ず ▲七赤 不規 ▲八白 何となく不印の事 ▲九紫 …

商況

京東公債直取引 特電

十三日出值段(前日との比較)	
五分特別	九八、一〇
五分利公債	八三、一〇〇
一回四分	
二回四分	
甲五分	

深川在米特電

十三日現在高	
朝鮮米	一七、一一七
蘭貢米	九三、五八九
內地米	二七九、〇二四

東京債券現物特電

十三日出來值段(前日との比較)　東洋拓殖、京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮鐵道、南滿鐵道　――

東京期米特電

十三日前場	十二月限	後場
寄付	四一、八一	
高值	四一、八一	
安值	四一、六九	
止め	四一、六九	

大阪株式特電

十二日 前場 後場　株式名：宇治川、神戸瓦斯、京阪電鐵、和歌山水電、合同紡績、鐘淵紡績、同新株、大日本麥酒、東洋汽船、大阪商船、日本郵船、大阪製鋼、東京米穀、大阪株式

大阪三品特電

十二日後場

大阪期米特電

限月		
十月限	六二、〇〇	六二、一〇
十一月限	六一、〇〇	六〇、七〇
十二月限	六〇、〇〇	五九、八〇
一月限	六〇、〇〇	五九、八〇
二月限	五九、八〇	五八、八〇
三月限	五九、五〇	五九、九〇

下關期米特電

十三日前場(伯耆賣に上腐へ)　當限 寄付 一四、六二　中限 …　先限 …

雜報

●金物材好況 金物材は一般に相變らず好勢にして鐵板は最近既に數回の品騰を演じ亞鉛板又亞鉛鐵板高値を現出し其他亞鉛線は品ガス之ふ高値に伴ひ現下平板の二圓五錢と洋釘又同樣の成行きにて今や各樣報通りの値上げを見るに至れり獨り洋鐵類のみは左したる變動なしと雖之又ザリキ小紛り模樣を呈し各品共に季節柄荷動き極めて良好なり各品現在の標準値を掲ぐれば左の如し

平板三十番二圓五錢、二十六番三圓▲浪板三十番六尺一圓九十錢、七尺二圓五錢、八尺二圓二十五錢▲亞鉛線八番十七圓五十錢、二十一番四十八圓▲洋釘一吋二十三圓、五十錢、二吋半二十四圓二十錢、三吋十九圓二十錢▲鐵板四八物五厘十二圓、四枚物十三圓四十錢、十一枚物十三圓、薄物十二枚物十七圓十三枚物十七圓五十錢

●麥粉は不振 內地粉は昨今下關渡しにて若竹の二圓四十錢赤鶴車神戶渡の二圓四十八錢見當を報じ會社側は現今原料小麥との採算上

態度甚だ強硬なるもあり又市場にては安値賣込みの傾きもありて市況は極めて底強き成行きを報じつゝある一面には依然荷動きの不振なる

滿洲粉の發展著しきものあり近來內地粉は漸次之が壓迫を加へられ昨今大に移入の數を減じ來れる有樣にて相場も滿洲粉との對照上兎角

伸悩み勝となり居れり現下の市中卸値は若竹の二圓六十錢處を維持せる位にて內地の氣配に添ひ乘れたる市況なり滿洲粉は鯉の二圓四十七八錢乃至

●鑛力板昂騰 鑛力板は松井其他季節物の罐詰製造期を迎へ需要大に增進を告げたる趨にて過般來內地相場の昂騰に連れ數許又此般近に至り約一圓方を引上げ目下三十九圓唱へとなれり

●椎茸高模樣 椎茸は秋子の下押しは見るべく豫期せられしが其秋子は時候の關係上幾分出遲れたる上に收穫も餘り良好ならざるやにて此處大阪表より約一圓五十錢高を報じ居れば當地も從て高模樣なり

●生果と青物 梨は三浪津より約百個梁梁砂物十餘個の入荷ありし品がスレ荷待ちの折柄さて比較的好人氣を以て迎へられ三浪津物は平均一圓十錢梁砂物一圓に出來せり林檎は梁砂物六十七八錢大邱物八十二錢にて入品は至極少數なりし松井は江原道其他地方の物など総末を告げ朝鮮產としては僅かに金羅地方より少數の廻著ある位なるが之と粹り內地物は十二日の初入荷に續いて十三日は十一二個の著品ありたり前日の分は一貫目六十錢見當なりしも本日は上物にて三十五錢乃至四十錢處にて出來せり其他資州より入荷せし朝鮮白菜一俵約十四五貫入七十五錢の出來なり

●砂糖は不勢 砂糖は元來が近來商狀不活潑なるに此處果柿の時季を迎へ需要の減退を見るは毎年の例とて市況は一層閑散を呈し來れり食業者の買附品は豫定通りの品搦けなきを以つて次第に持品剩餘して何れも焦り氣味なるに會社側も相變らず競爭の手を緩めざれば氣配自づと軟勢に向ひつゝあり市中小口卸はビー十二圓三四十錢の現下の最低らしきも先行きの一段の安値を期待せらるゝか等仲買漬屋口共に極力買控方針を取り居れり

五十錢龍は之より五錢虎は十錢上りなりといふ

下關相場

▲朝鮮白米は氣重し 產地との比較上別に賣り急ぎ物あらずと雖も何分割高な柄に兎角買氣の進まざるため賣れ行き鈍情にして市況氣重く之れが弗々の出來値は左の通りにて其後の輸入は新白米六十叺のみ

▲大豆は矢張軟弱 本品は既報の如き事情の下に別段投賣り急ぎ物あらずと雖も前分捌引續き相當に出廻りあると大體の人氣先安見越の折柄さて自然買氣の進まざるため相變らず市況軟弱を極め之れが弗々の出來値は左の通りにて其後の輸入は釜山物四十四叺倭館物二百六叺永洞產四十五叺沃川物二百八十五叺太田物四百十二叺等なり

▲小豆は强保合 前報後安東縣炎りに小豆二百十五叺の廻著に過ぎざるのみならず北海產地の如きは依然安からぬ情報を傳へ居るに依り昨今賣れ行き捗々しからぬにも拘はらず人氣惡しからず

△朝鮮一等白米(當用)	十五圓四十錢
△同	十五圓五十錢
△同新一等白米(當用)	十五圓六十錢
△同	十五圓七十錢
△沃川大豆	十圓二十錢
△同	十圓二十錢
△倭館大豆	九圓九十錢
△同	十圓
△太田大豆	十圓二十錢

確實　迅速　(定期米賣買案內御報次第送呈)　仁川米豆取引所仲買人　仁川港町　廣島三次郎　電話一六五番　六三二番

京城正米

新米は出廻りの漸增と買方の見送りによつて次第に不勢の傾きなり今朝は前日に比し更に二十錢安の唱といへば玄米の十一圓八十錢見當なるが一摑歩々しく商內行はれず

南大門の廻穀

西井里玄	二八叺	力浦 黍 二七叺
砂里院玄	二〇四叺	平澤白米 二六叺
鳥山白米	二七叺	鳥致院胡麻 二〇叺
平澤玄米	二七二叺	鳥致院荏子 一一叺

仁川現物市場

▲穀 入津二百餘俵

市場零聞

▲頭重く伸びず 天候大阪の上放れを受けたるも大雨の爲めならんとの見解と跡安を受けて存外賣物多く十一圓九十三錢も寄付一步四錢と跳ねたるも依然賣物多く折柄大阪の漸落を受けて㋑㋺㋩其他より賣物現はれ㋠㋷今共他より能く買向ひたるも八十六錢と押し幸くも七圓と支へて前途を告げたり市況は賣人氣旺盛なる傳へ一面正米界の安氣配に乘じて軟軍の賣り進みに存外頭重く伸び悩みの場況を呈したり不知今後の成行や如何

▲前場の手振 重なる商內は㊀方七千餘石㋺六千餘石㊉三千餘石㊇各二千餘石㊎各千餘石等に對し買方㊃七千餘石㊉四千餘石分三千餘石㋹各二千餘石㋭㊉各千餘石にて他は小口商內であつた

▲㊦の大商內 今前場同店より賣りたる玉數七千餘石に上り買たりとの事にて市場の注目を惹いたり

▲㋑能く賣る 前場同店より賣りたる玉數六千高石に上りたりとの事一面二千餘石の買ありたるも市場の注目を惹いたり

▲㋷能く買ふ 前場同店より買たる玉數四千餘石に上りたりとの事一面三千餘石の賣ありたるも市場の注目を惹いたり

▲今能く買ふ 熱心強氣筋の同店は前場人氣の賣逸りに向ひ能く買向ひたる玉數三千五六百石に上りたりとの事一面五六百石の賣ありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲㋑能く買ふ 前場同店より買たる玉數二千餘石に上りたりとの事にて熱心强氣筋なる丈市場の注目

仁川米豆取引所仲買人　仁川港町一丁目　三巴仲買店　電話三二三番　電信略號(三ヌ)

仁川期米

▲十三日前場 兵庫前寄十五…

○大阪天候大雨前寄十五圓十八錢と昨止より十六錢高の入電二節十二錢と安移りにて當地は當限出來不申にて先十一圓九十三錢と同事に寄付四錢と賣物多く折柄大阪三節○九錢の移りにてヤリ〳〵八十八錢と押し大阪六節○五錢と漸落を受け更に六錢と押して保合前局八十七錢と保合の裡に伸悩みの成行を示して散會

▲十三日前場 當限出來不申 △中限㊂十二圓五十三錢一錢二錢平均值段五十二錢㊃五十二錢㊄五十錢 △先限㊀十一圓九十三錢四錢三錢九十錢八十九錢㊁九十錢八十九錢八十九錢㊂八十八錢七錢八錢七錢六錢七錢六錢七錢六錢七錢八十七錢 出來高一萬石

田中合資會社　一般大阪米穀定期賣買の御注文御用命御引受仕候　仁川仲買　電話二一六二番　一五二番

釜山穀物市場　十二日

▲正米 入津なし 氣配は安人氣を唱へ居れり
▲大豆 入津八百餘叺
▲小麥 入津なし
▲正米(同事) 新米の出廻りも小口ながら弗々これあり賣り物餘り乏しからぬへ買人の各精米筋も本日は一寸原料の必要を感ぜざる模樣にて更に買ひ進みの事もなく只底隙きなく割安品のみの買ひ漁ひのみにして相場は變動もなく保合同事なり
▲大豆 買人は相應あれど〻相場は矢張り保合の商狀にて差したることなし

合計	
玄米	一千八百十個
大豆	一千三百九十七個
	四百十三個

▲三續て賣る ㊀前場先は…店は今前場も自店たざる出來高も賣物を強したる玉數二千餘石に上りたりとも市場の事一面五六百石の買ありたり注目を惹いたり

▲結局保合ひ 今前場大阪の上放れを受けたるも跡安の見越人氣に充ち外資醸勝にて場面は軟賣人氣に充ちたる感ありしが大阪の漸落を傳へて押し待ちに漸く賣物現はれて下支へたるも大阪の成行に比し頗ぶる軟弱であつたと左れば今前場は

仁川米豆取引所

十三日の十二月限

寄付	十一圓九十三錢
止め	十一圓八十七錢
高値	十一圓九十四錢
安値	十一圓八十六錢
出來高	二萬二千石
平均値段 一節	十一圓九十一錢
二節	十一圓八十九錢
三節	十一圓八十六錢
四節	十一圓八十七錢
五節	十一圓八十七錢

賣買取組高

十月限	六千四百五十石
十一月限	七萬千七百五十石
十二月限	四萬九百五十石

青物小賣相場

ダイコン	二五	ナツパ	二
ニンジン	四〇	ホウレン	七
ゴボウ	二五	シンギク	二五
コイモ	三	ツバ	一
カブ	八	ワケギ	二
レンコン	八〇	カイワリ	二
ナガイモ	一〇	チギ	二
アライモ	二五	ウド	五
ツクイモ	二〇	ユリネ	二〇
アカイモ	二五	サトイモ	五〇
サツマイモ	二〇	マツタケ	九〇
ミツナ	二〇	シイタケ	五〇
シヤクシナ	二〇	ユズ	二〇
ダイク	三	キノメ	五〇
クワイ	二	カモリ	一
ハナマメ	二	チサ	三
ヘセリ	二	キウリ	八
ナス	一五	ダマナ	二
ハクサイ	六〇		三五

北濱だより

▲東洋紡績株 前期に於て配當率を維持した二割以上の配當も不可能ではなかつたが增資後も克く此の配當率を維持せんが爲めに綿絲の配當と共に綿布の好況で業績は極めて良好であるか從て其他の紡績會社も增配を行ふべきの觀あり運動の剩餘あるの如きすら有志株主が增配を行ふべきは當然の配當は香定せれざるべき運動あれば之を揣摸するとは云へ左れば三割と云ふ比の配當より打算すると割安の點にて一般に抑へ込みで配當は三割とすれば此際同株の竈期の配當よりも低値なりと見るも新株は可なり少なくとも綿紡の新株とには可なりで賣氣向き…

▲日本製糖株 前期業成績は、業好人氣狀を合はせ當り增資計畫は配當は乃至二割以上となるも宜いので近日步合中の利步九分以上と云はれ二步乃至一割の配當は減少せざるべし……

大正五年十月十四日(土曜日)　京城日報　(夕刊)　第三千二百六十七號　(明治四十二年九月八日第三種郵便物認可)

汽車

各宮家御用品

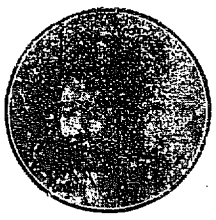
女流名家と

學者の創製したる

美顏白粉

(其一)

▲生れつき色が白いやうな白さに附く白粉▼



身嗜としての白粉

下田歌子刀自談

近來は化粧と言ふ事が大分喧しくなりました。其れには二樣の意見があつて必要と不必要のこの二つであります。妾はいつも思ふのです。化粧なぞと單に云へば非常に野卑にも聞ゑますが、若しこれを身嗜みと言ふ風に解釋すれば必要不必要と云ふ現在の問題を超越して「女になくてはならぬもの」と云ふ當然の結果が現はれるだらうと思ひます。

其處で妾は暫く「化粧」と言ふ文字を辭書から除却いて「身嗜」と言ふ風に添删──否訂正したいのです。處で、白粉です。これが又舊來の白粉なるものは實物を見ない以前、名を聞いた丈で早く既に野卑なものとの聯想を起させる──縱しても鉛毒と云ふ皮膚を咀ふ一種の毒素があつて其れが爲め婦人の皮膚を荒涼させるのみならず婦人の半生を一層暗く冷い處へ導くものと言ふ考へを起させました。

尤も舶來の白粉はこの間に立て幾分學術的に進歩したやうな點がないでもありませぬが、是れは人種の相異や化粧──否身嗜風の差からして絕對我々日本婦人の肌に合はぬばかりでなく、非常に高價で迚も普通人の使用には適しませぬ。殊に先頃、國產獎勵の有難き思召しも拜されて以來、心ある婦人は從來稅關や諸仲買人の手を經て非常な高價になる舶來白粉に拂つた過去の負擔を今更ら悔ひ、何とかして此際斷然舶來白粉を全廢して國產品の白粉に代へたいものと、種々物色したが怎うも理想に適つたやうな品が日本にはない。尤も近頃は段々開けて和製白粉にも無鉛を標榜するやうなのが現はれましたが全然無鉛なものは肌に塗きが惡く第一分析でもして見ると事實無鉛として推獎するに足るやうな結構なものは得難かつたさうで、眞に身嗜を珍重せらるゝ高貴の方々始め上流の常識ある婦人は久しく此の點に煩悶して居られたらしいのです。

處が一昨年來ちよい〳〵新聞や雜誌上で高貴の御用として彼の學者の創つた美顏白粉と言ふのが見ゑます。最初は又例の誇張な廣告だらう位に思はれて居た處が、讀むで見ると比較的眞面目らしい、と言ふのは彼の(學者の創つた)と言ふ字句と厭味でなく自然のまゝに白くなると言ふ字句に非常な魅力があつて讀者は皆引つけられたが使つて見るとナルホド品質が純良で從來の白粉とは飛離れた特質を具て居る事が判りました。第一絕對に無鉛で皮膚を些も害せぬは勿論、第二に白粉其物の色といひ光澤といひキメといひ日本婦人の肌に合ふやう少しも遺漏なく出來て居るのに皆驚いたさうです。

其れから美顏白粉が現時の如く世評を高めたには今一つの理由があります。其れは完全した桃谷研究試驗部と言ふ設備があつて其處で專門の博士や學士が每日研究し責任のある製品を供給しつゝある事で、唯學者が創つたなどと漠然とした斷じてはなく、桃谷研究試驗部は新聞や雜誌に署名してある夥多知名の學者が每日出勤して美顏白粉其他美顏化粧料製法の爲め專ら努力しつゝあるのは事實です。是れ丈でも美顏白粉は最近評判通り最も優れた品質を具へ舶來白粉も遠く及ばぬと言ふ事が判ります。又近く桃谷では御料品製部の新設備が更に加はり國產獎勵の御趣旨にかしこみて大いに我國化粧品の發達を促さうと言ふ意氣込ださうですから、先づ差當り選ぶべき適當の白粉だと思はれます(文責在記者)

譽高い學者の創つた白粉

博士夫人　江木欣々女史談

いつでも引合に出される

ので困つて居ます。イーエ、華美な事とか、流行の事とか何とか言ふと乾度妾と日向さん(きむ子)女史が並むで雜誌なぞへ引合に出されたものです。一寸見ると日向さんと妾は大變親密なやうですが其の實飾りよく御交際もしない位だから可笑しいぢや在りませぬか。

世の中は凡て遊戯ものでしやうか。此頃は暑いのでモウ何もする勇氣がありませぬが而し妾には女の第二の生命とも言ふ

お化粧丈は朝夕屹度

忘れた事がありませぬ。と言ふと大變お洒落のやうで、何だか底のない輕い女のやうに見ゑますが、妾のお化粧は何方かと言ふとお洒落と言ふ程につき詰めて居ない、マア身嗜み位の點に留めて置く心算です。世間では妾をヒドク華美な女のやうに思つてお居出の方もあるさうですが、妾は何方かと言ふと質實な方が好きなのです。お化粧にしても質實と言ふよりも、

生れつきの美貌に見せたい

と言ふ、隨分勝手な慾しか知れませぬが、さう考へて居るのです。尤も勝手と言へば勝手なやうですが、しやうと思へば出來ぬことはないと思ひます。化粧の使命とやらは最もこの點にあるので、化粧をした、白粉を塗けたと看破されるやうでは其の化粧は虛欺になつてしまふのです。オホヽ、大分理窟に陷ちましたが、此の生れつきの美貌に見せるには怎うしても從來の日本製の白粉では駄目だと言ふので從來は

隨分舶來の高價な白粉

も色々使つて見ましたが、今日迄一つとして氣に入つた化粧の出來た例はありませんでした。處が昨年あたりからフトした動機で使つた彼の美顏白粉──あれが非常に妾の氣に入つたのです。尤も新聞等を見ましても美顏白粉ばかりは各宮家や上流の婦人達が專ら御愛用になつて居ると言ふ事が載て居りますが、妾のはさうした動機から使ひ始めたのではなく、ツマリ色々の白粉を盲動的に使つて居る中に端なくも美顏白粉は

妾の心を動かすに充分な力

があつたのです。と言ふのは一體勞働をする婦人に比べて每日樂をする婦人の肌は比較的抵抗力が弱い、抵抗力の鈍い肌は一見キメが細かいやうで肉が緊張して居ないので何處となく皺みがあるから白粉がよく塗らぬとしたものです。隨分上流の貴婦人中にも白粉のムラになつて居る方のあるのは化粧が下手と云ふのではなくして從來の舊式白粉がこの肝腎の理窟──即ち肉の組織を考へずに創られて居たから

皆々上すべりの化粧

に終つて居たのです。流石は學者が苦心の末發明せられた丈あつて美顏白粉ばかりは右の理窟にピッタリと當嵌つて居り色が極めて白く、キメが全く細かく出來て居るので、如何に皺むだ肌の人にも、又アレ性脂肪性の肌にも理想通りクッキリと美しくつきます。」(文責在記者)

白粉は斯して選む

跡見玉枝女史談

月の五日記者はフト思立つ事ありて現代女流名家の訪問を企てた。梅町で電車を乘り捨て蟬時雨喧しい木影を辿つて跡見女學校前なる跡見玉枝女史邸を先づいの一番に訪ふた、女史は人も知る女流教育家併びに畫家として令名ある花蹊女史の令嬢で殊に畫筆と倶に彩筆を以て聞ゑた方である。先づ刺を通じて來意を告ると、女學生のお弟子らしい十八九の令嬢がお取次に出られ、玄關の敷臺に三つ指をついて倹しやかに『どうぞ此方へ』で、通されたのは靜かな客室。唯見る長廊下の彼方に鏡臺があり鏡臺の上に美顏白粉と未だ何やら聚つて居るやうであつた。記者がけふの訪問は女史が最近の消息を知りたいのにもあるが、一つは女流名家の化粧談を伺ひたいと言ふ使令を齎したもので、折も折、美顏白粉の發見は確かに鬼に鐵棒の强味であつた。待つ間程なく女史は涼しさうな束髮に清楚な明石縮布と言ふ扮裝で記者を引見せられ

『どうもお待せしました。お暑いぢやござるませぬか。』

と物腰淑やかに窈と扇風機を向けられる。記者は恐縮して訪問の概略を述ると、

女史『妾に化粧談はチト御門違ひかと思ひますが、折角ですから仄かに感じた事丈を申上ましやう。一體妾自身としては化粧其物を別に歡迎もしませぬが、と言つて排斥する理でもない、唯女子は男子と違つて或る年齡に應じ其れも假裝的でない身嗜みは或意味に於て必要とも思はれる──とこれ位に考へて居るに過ぎませぬ。』

記者『貴女の御注文に叶ふやうな化粧をするには、どうすればよいのですか?』

女史『其れは先づ第一は白粉なり其他化粧品の撰定と第二に年齡です。若しこの年齡に相當せぬ化粧をしたり或ひは身嗜みの程度を超へたお化粧は當然假裝と言はねばなりませぬ。』

記者『化粧品の撰定法として貴女は何にお依りになりますか?』

女史『妾としては沒交渉ですが、多くの婦人のなさる處を見ると矢張り新聞廣告でしやうね、でも之れより外にはありませんもの、さう一々醫者の説明を諦める程の問題ではありませんからね。』

記者『但し全然新聞廣告ばかりを信じてよいものでしやうか?』

記者『其れは何とも言はれませぬ、中には隨分誇大なのもありますが、さう言ふ中にも權威のあるのとないのは怎麼方が見ても一目で判るでしやうよ?』

女史『假令へばどんなもの、先づ貴女が讀者と言ふ地位に立つて御覽になつて、どう言ふ化粧品の廣告に一番信が措けますか?』

女史『左樣!』と女史は暫時考へた後何者か發見でもしたやうにニッコと笑み。

女史『他人樣は兎に角妾としてはアノ美顏白粉ですね、美顏白粉の廣告には其の都度(學者が研究發明した)とか(生れつきの色白となる)と言ふ充實した文字が澤山ある、妾は敢て我田引水の說を唱ふるものではありませぬが『新しい婦人』殊に女學生等が用ひる化粧料は少なくも原料であつて欲しい。出來得べくんば門地の高い專門の學者が創つた、野卑でないものであつて欲しいとは嘗て妾の所論でありました。美顏白粉は丁度妾が年來の希望を滿しめたもので、且つ高貴の御料と迄なつて居るのであるから定めし品質の善良な白粉であらうと、若いお弟子にも試しましたら、御覽の通り(と例の鏡臺を指し)早速使つて居ります。イヤ全く不思議な白粉で少しも白粉を塗けたやうな跡がなく眞に迫つた美しい色澤となるには流石の妾も驚きました。』

道理で見る婦人も〳〵當家のお弟子は皆美しいと記者は內心竊かに思つた。圖らずも女史の口から化粧品の撰定談を承り怒ひな化粧談より餘程耳先が新しいと北叟笑、序に女史をレンズに收めて暇を告げたは早や灯頃。

2576.135.10

東京　桃谷順天館　大阪

京城日報

第三版

十四日朝刊 夕刊と合せて八頁

外交總長後任難

唐紹儀氏外交總長辭職の後任として段總理は汪大燮氏を選定し議會に其同意請求案を提出す可しとの報道頻々たるも確報に據れば段總理が汪氏を外交適任者として切に其入閣を交渉せるは事實なるも汪氏は到底承諾せず其理由とする處の最大原因は前に段内閣の組織に當り汪氏は交通總長に擬せられしが現内務總長孫洪伊氏は帝制贊成者たる彼れと與に位するを愧づとて絶對に其入閣に反對し汪氏は頗る其面目を毀損して辭職の已むなきに到れるに現在孫氏猶總長の一椅子を占め居れば汪氏たる者決して孫氏と同内閣に兩立し得ざる譯なり此外段内閣の前途は決して樂觀を許さず閣僚間に於て黨爭の暗潮横溢し何時其渦沒を見るも料られざるに自ら好んで渦中に投ずるは愚の極なる可く加之、新總長の第一に指を染むべき鄭家屯事件の交渉亦太だ困難なる者あれば汪氏は切なる段氏の勸告あるに拘はらず之れを絶對に拒絶したる譯なり汪氏既に如何にするも就任を肯んせざれば刻下の急補を要する外交總長の候補者は又復た陸徵祥氏に舞戻れり蓋し段氏の意は外交當局の適任として差當り陸氏の右に出づる者なければ此際是非陸氏を就任せしむ可く且つ陸氏案が議會に於て敗れたるは僅に九票の差に過ぎずして其敗因は全く政府が事前に議會と折衝、協商して其贊同を求めざりしに在れば更に議會を協商して今一度陸氏案を議會に提出して其通過を謀らんと期する者の如しされど再度の陸氏案提出に於て必ず通過す可きや猶不確にて陸氏元と君子風の人物なれば初度の不通過に對しては甚敷介意せざるも若し再度の不通過を見るに於ては獨り陸氏の面目を毀損するのみならず段内閣亦威信を失ふこと甚だしきに至る可きを以て更に第二策として別に候補者を物色し孫寶琦氏に當りを附けたるも孫氏亦政爭の渦中に投ずるを欲せざるを以て堅く辭退したれば段氏は更に胡惟德氏に注目しをれり胡氏は永年露國に公使となりて外情に通じ又日本公使として日本朝野に交友多ければ日支交渉に對して便宜ある可きを利とし胡氏を起こさんとの意あるも果して議會を通過す可きや疑問なり而して一方民黨側に於ては前參政院副院長として帝制に贊成し率先袁項城に臣と稱したる汪大燮は無論の事、官僚黨たる陸徵祥等には決して同意を與へず是非とも民黨たる温宗堯、王寵惠二氏の内より擧げんとし現に岑春煊氏の如きも温宗堯、高而謙二人を推薦せし有樣にて結局外交總長の椅子は官、民南北兩黨の孰れの手に歸す可きかは頗る見物なり

朝鮮の古城郭(十二)

八木奘三郎

(四)歷代城郭の變遷(承前)

(ロ)鳳山郡の土城(續)

(一)城郭の起源は土築なる可し。東亞の城郭類を大觀するに、其構造一にあらず、或は石城、或は土城、其他竹城、甎城等數種の別あり、就中。竹城の如きは臺灣にも支那本土にもありて、如何にも幼稚に見ね、又手輕にも見ゆれば、是等は城郭の初期に似たれども、其實後世の經濟上より按出せし新式にして、其起源とは見る可からず、而して原始城郭は如何なるものぞと云に、予は土城を以て創始の本體と信ず、今其實例を擧ぐるに先つて、文字の構成上より之を論明す可し。

蓋し城の字は土扁に成の字を合せしものなれば、其構造已に土築なりしことを證して餘りあり、而して城郭は元來防禦を主とすると共に、多少大なる區劃を要し、又人類進歩の後に至りて創始せられしものなれば、一は以て經濟上の關係を伴ひ、他は以て堅固を主とす、己に斯る性質のものなれば其材料を手近の土壤に取ることは自然の情勢と云ふ可く、又兼て堅固たるを得可し、故に城郭の原始が土築なりしことは殆んど疑ふ可からず、然るに日本の古書には稻城の記事あり、又漢書には神農の教に曰く「石城十仭、湯池百步、帶甲百萬あるも、粟なくんば守ること能はず」と記せり、而して事物紀原の如きは城の創始を神農となせば、一見城郭の本源は石城の如く、又國によりては稻城に始まれるが如くに記せり、されども稻城は急場の設備と覺しく石城の説は口碑の採錄に過ぎざれば取るに足らず、唯だ土城に至ては其證甚だ正しくして動かざるなり、今古書に因て猶此説を確めんと欲す

周禮、夏官の條に曰く。

掌修城郭、溝池、樹渠之固、鄭注中曰、浚溝之土、所以爲城也、溝壘池之土、所以爲郭也、溝池深於外、則城郭固於内、用其深、以增高也、渠又在其外、所以出水、因之設固、植木其上、守固之材出焉。

鄭康成曰、樹謂枳棘之屬有刺者

此類の記事尙ほ他にあれども煩はしければ省略す可し、而して上文によれば土を以て城郭を築き、其窪地を以て溝渠となし、更に土居の上には樹木を密生せしめて敵を防ぎたるが如し。

次に鄭康成の枳棘の屬、刺あるものを嗣ふと云へるは、彼の臺灣の竹城に刺竹を殖ゆるが如き例なれども、是等は寧ろ後世の風に出れば必ずしも拘泥する必要なく、單に樹木と見れば不可なかる可し

黃海道を縫うて(五)

豺の子生

△豫想外の三事實 今度の旅行中度瞻を拔かれたものが三つある、之は追々話す積りだが其の中の一つは道路のことである。新政施行以來道路の改修が顯著な成績を擧げた事は豫て承知はしてゐたけれども其れは一等か二等の樣な主として府上の經營に係る重要道路であつて、三等道路や等外道路はまだ〳〵大したものでは無い樣に心得てゐた然るに田舍を巡つて見ると里から里へ、洞から洞へは悉く新しい路がついて何處へ行くにも舊道を踏む樣なことは殆んど無い。自分などは山から山を通つてたのだから隨分不完全なる可き道を通つた譯であるが其の道路は悉く新道であつて、勾配も尠く幅員も廣く却々立派なものであつた。斯んな僻地にまで此の樣な道路が四通八達してゐることは眞以て豫想外で夫れを今迄氣付かなかつた自分は職責上甚だ赤面の至りに堪へぬ次第である。

△道路の維持修繕 然し道路の維持といふことは非常に手數のかゝるもので一寸油斷をすると直ぐ破損する。加之まだ〳〵禿山の尠くない朝鮮では降雨毎に急激な出水を見て暗渠や橋梁を滅茶々々にする事が多いから之を維持するには餘程の注意と手入とが肝要である。處が自分の通つた地方ではどうも改修後の手入即ち維持といふ事に行き屆いて居ない所が多い樣に思ふ、載寧、信川間の道路は前回に書いた通りだが信川から松禾間なども路面は餘程平坦だけれど暗渠や橋梁は雨期に路落、破壞した儘今尙ほ打ち捨てゝあるものが多かつた。三等以下の道路は賦役に依つて出來又た賦役に依つて維持されるのであるから無暗に金を集める事も出來ねばまた矢鱈に人夫を驅り出す譯にも行かねが、折角立派に改修され築造されて現下の如く四通八達した道路を持ち乍ら、維持修繕の行き屆かね爲め其れが有効に使へないといふ事は甚だ殘念至極である。さらばといつて當局も道路許りに金を注ぎ込む譯には行かぬので此の點に就ては餘程苦心してゐる模樣だがさしづめ名案も浮ばぬようである

△所謂寶の持ち腐 依つて此の上は地方民が進むで其の維持修繕に努め、地方の爲めに出來た道路は地方民に依つて立派に仕上げて行くより外に仕方がない。道路の備不備が地方の消長に深甚の關係あることは今更喋々する迄もないが地方の發達は即ち地方民の繁榮であるを知つたら此の大事な道路はお上の爲めでなくて實に地方民の爲めに造られたものだといふ事を忘れてはならぬ自分等の手に依つて立派に改修して置き乍ら損じても壞れても我不關焉を極め込むでゐる杯とは甚だ以て其の意を得ぬ次第である。地方民諸君は須く意を茲に注いで當局の指揮を俟たず各自率先して其の維持に努め修繕に盡し道路としての價値を充分に發揮して有効に利用せなければならぬ。寶の持ち腐りは諸君の繁榮さる地方の發達とに取つては大の禁物である。此の點は如何にしても諸君の自覺を促さなくてはならぬ。

日報詩壇

○題觀瀑圖 齋藤 三寅

坐聞飛亂沫。筆下奪神工。冽氣背將凍。寒聲耳亦聾。山吹三伏雪。溪起一條風。又手難題句。呼杯發酒筒。

誰奪神工爽骨毛。玉龍飛躍格詩豪。壁間一道寒聲起。髣看銀河亂雪濤。

評曰。二首極適于題意。寫狀亦逼眞

○送某東歸 高田 小芥

盤礴松陰坐睡消。挂冠便覺葛巾輕。悠悠出岫白雲意。休溷帝雲向帝京。

評曰。恐情不盡

○月下臥舟 古城 梅溪

蘭橈乘月去。醉似泝天槎。已作廣寒客。還非下界人。

評曰。完璧

文學士 鈴木宗忠氏 文學士 早船慧雲氏 共述 ■菊判上製本全一冊 ■價金二圓(送料十二錢) ■總紙數五〇〇頁

チーレ 宗教學原論

最新刊

宗教學唯一の權威出づ!! 本書は宗教學の問題を限なく網羅し包括的に且徹底的に論述せるものにして一般宗教學に關する著述としては方今世界の學界に於ける殆ど唯一の權威也。譯述者はかゝる名著を我國の學界に紹介すると共に適當なる宗教學研究の目的を以て流麗なる文辭に自由に之を意譯したり。

圖 ニイチエ研究	和辻文學士著	定價一圓五十錢 送料十二錢
圖 シユライエルマツヘル宗教論	石原文學士譯	定價金二圓 送料十二錢
圖 ゲエテ「我が生活より」第一	生田文學士譯	定價金三圓 送料十六錢
圖 パウルゼン近世哲學史第一	村岡典嗣譯註	定價二圓五十錢 送料十二錢
圖 ギユヨー社會學より見たる藝術	大西文學士譯	定價金三圓 送料十六錢
圖 ブランデス十九世紀文學の主潮上卷	吹田文學士譯	定價三圓五十錢 送料十六錢
圖 ヴントの心理學	須藤文學士著	定價金二圓 送料十二錢
圖 ゼエレン、キエルケゴオル	和辻文學士著	定價二圓五十錢 送料十二錢
圖 サバテエ宗教哲學概論	波多野精一・大山與嗣氏共著	定價一圓二十錢 送料金八錢

圖書目錄送呈(郵券四錢封入御申込を乞ふ)

東京市日本橋區大傳馬町二 內田老鶴圃 振替東京一一〇四六・電話浪花一三三五

高等普通學校教諭 阪上綱吉先生著

朝鮮諸官廳受驗必讀 法律講義 菊判二五〇頁 定價七十五錢 送料八錢

朝鮮諸官廳受驗必讀 法律問答 菊判一二〇頁 定價四十錢 送料六錢

兩書が受驗者に如何に必要であるかは十月八日施行の見習試驗問題が記の一頁に於て詳説しあるにても知らるべし法學通論問題は法講七頁及一二頁、一九頁、法問三二頁五三頁、行政法第一問は法講一二〇頁及一二八頁第二問は法講八四頁及九〇頁、法問四四頁、法問四頁因に法律問答は口述試驗の良參考書にして法律講義の姉妹篇なり

京城本町一丁目 大阪屋號 振替京城二五七三番 電話四八二・二八六番

第二回佛國公債募集

條件 ▲利率五分 ▲發行價格 額面百法ニ付八十八法七十五參ナレドモ八月十六日ヨリ十一月十五日マデノ利息ヲ申込ト同時ニ支拂ハルヽガ故ニ實際拂込額ハ八十七法五十參 ▲利子支拂期 二月、五月、八月、十一月 ▲償還 一九三一年一月一日以後ハ佛國政府ハ償還ヲ行フコトヲ得

應募者ノ利益 利廻良好ナル外左ノ特別利益アリ

一、拂込換算率 目下ハ佛貨騰貴ノ傾向アレドモ當支店ハ特ニ壹圓ニ付貳法九拾四參ノ割ニテ換算ス(額面百法ニ對スル邦貨拂込額金廿九圓七十六錢)發行價格ハ前囘ヨリ高キモ邦貨ハ却テ低廉ナリ

一、佛國政府租税免除

○申込 當支店へ直接御申込ト同時全額御拂込相成度候

本月二十九日午後四時締切

本證券及ビ假證券送付運賃保險料等實費ハ應募者御負擔ノコト但本證券引渡以前ニ發行スル假證券ヲ四月發行本店ニ保管御希望ノ方ハ無手數料ニテ取計可申候

東京市日本橋區本革屋町五番地

佛國政府指定取扱銀行 株式會社 日佛銀行東京支店(三井二號館) 電話本局三九五四番

秋季新學年開始

入學絶好機

新入學生既に五萬 何人も容易に中學全科を卒業し得る日本第一の講義録

早稻田中學講義

大隈侯爵 高田博士指導 學制大刷新 全部最新式印刷 講義録界革新の先鋒 急

政治經濟科 法律科 文學科 商業科

各科講義録の特長見本附規則書により知るべし 本春開始何時にても入學せしむ

入學金全免

學費給與 奬學メダル贈與 其他大特典提供

申込次第見本附規則書直に送呈

東京牛込 早稻田大學出版部 電話番町三七四番・二四二二番

模範家庭文庫

坪内逍遙序 名取春仙 山本鼎 岡本一平 挿畫 楠山正雄譯

新譯繪入 イソツプ物語

■大人には大人の面白味 子供には子供の面白味

定價金貳圓廿錢 郵税十二錢

晉美空前 華麗無比 家庭文學の女王が新裝を見よ 挿畫三百 三色版十二面

■諧謔と教訓の無盡藏

坪内博士序 文に曰く『ちと思ふと品が惡くなる普通の痴癖を脫して追々向上のあるのは冨山房のお伽噺である『此最新刊のイソツプ物語』の如きは遙に類書中の白眉である

本文 教訓話三百三十五集大成的の新譯也

挿畫 三百、赤と青の色刷美しき動物畫帖

裝幀 高雅絢爛無比の金模樣美麗なる箱入

附錄 イソツプ傳物語考證索引附體裁完備

深切な解說、精到な挿畫、面白い工夫、中々の劇的趣向を以て家庭用の幼年用として成るべく好結果を及ぼす

既刊(1) 杉谷代水譯上下各冊金貳圓郵税十二錢 アラビヤンナイト(版五)(3)

中島孤島譯金一冊金貳圓廿錢郵税十二錢 グリム御伽噺(版再)

東京神田 冨山房 振替一〇五

十一月號出づ

幼年の友

▲面白い手品のたね ▲樂しき遠足忠犬ポチ

特別附錄…お伽家族合せ

立太子禮奉祝號

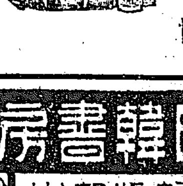
奉祝提灯行列 つぼきりの劍 奉祝お伽唱歌

實業之日本社 東京京橋南紺屋町 振替口座三六〇番

一冊十二錢 半年分七十錢 一年分一圓四十錢

京城本町二 正氣堂名刺舖 電話二九五番 振替京城一二八三番 期日正確 送料無料

品質の優秀は



醇酒

最後の勝利を獲得す 絶對の信用を博し

攝津灘新庄家 宮内省御用酒 釀造元 若林合名會社

京城本町三丁目 特約店 山本富之助商店 電話五七五番

大阪市東區 心齋橋通備後町南口入 莫大小問屋 中野幾之助

◎相撲表進呈◎ ◎大勉強可仕候◎

冬メリヤス

日韓書房

新版報告

若林欽譯 カイゼル外妾の告白 定價七十五錢 送料八錢

東京家政研究會編 貯金の出來る生活法 定價五十錢 送料六錢

驅本日南著 清教徒神風連 定價一圓廿錢 送料十二錢

岡本米藏譯 牛 定價一圓 送料十二錢

南天棒著 一喝禪 定價九十錢 送料十錢

京城本町二丁目 電話 振替

秋になり一層必要なアルボース

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

◎新內閣初閣議開會

總督後任交涉顛末報告

新內閣初閣議は十三日午前十時內閣に於て開會首相以下各大臣等參集寺內首相は朝鮮總督後任の件に關し當日別室に於て長谷川元帥と會見交涉の顛末を報告する所あり次で地方長官會議を來る二十八日開會する事とし續いて目下缺員中の樺太、三重、山梨、熊本の各地方長官の後任人選を爲し終つて各所管事務の打合せを爲し正午散會せり尙政綱政策及來るべき第三十八議會に對する施政方針地方長官會議に關し緊急閣議開會の必要あるを以て十七日次回開會の事と爲したるも同日は神嘗祭に相當するを以て十六日開會の事に決せり（東京特電）

◎天長節祝宴廢止

來る三十一日天長節祝日に於ける宮中御祝宴は虎疫流行の爲め御取止めの事に御內定相成りたり（東京特電）

◎文官任命

前電の如く十三日閣議の結果左の如く任命發表ありたり（東京特電）

任文部次官（一等）　文部省普通學務局長　田所美治

任文部省普通學務局長（二等）　維新史料編纂局長兼文部省參事　赤司鷹一郎

外務省通商局長　坂田重次郎　任特命全權公使（一等）西班牙國駐劄被仰付葡萄牙國駐劄兼務被仰付

總領事　中村巍　任外務省通商局長（二等）

樞密院書記官　二上兵治　任樞密院書記官長（二等）

埼玉縣知事　昌谷彰　任樺太長官（一等）

高知縣知事　土岐嘉平　任石川縣知事（二等）

石川縣知事　太田政弘　任熊本縣知事（二等）

從四位勳三等　山脇春樹　任山梨縣知事（二等）

東京府內務部長　岡田忠彥　任埼玉縣知事（二等）

神奈川縣內務部長　長野幹　任三重縣知事（二等）

宮城縣內務部長　柿沼竹雄　任高知縣知事（二等）

依願免本官（各通）　文部次官　福原鐐二郎　山梨縣知事　坂本三郎　熊本縣知事　川上親晴

◎觀兵式指揮官

來る三十一日擧行の觀兵式諸兵指揮官及び參謀長左の通り發表されたり（東京特電）

陸軍中將　松川敏胤

天長節祝日觀兵式諸兵指揮官被仰付

天長節祝日觀兵式參謀長被仰付　陸軍少將　菊地愼之助

◎園侯京都到著

豫て在京中なりし西園寺侯は十三日夜京都に著し田中村の別莊に入りたるが當分同地に滯在する由（大阪特電）

◎石塚長官入洛

總督府農商工部長官石塚英藏氏は歸任の途次十三日入洛十四日出發すべし（大阪特電）

滿洲だより　大連支局報

▼州鹽輸出見込

內地新聞の報ずる向もありしが現在の州鹽産額は約一億八千萬斤にして此內大日本鹽業會社の製鹽高一億五千萬斤即ち全產額の八割を占め今春同社が專賣局より受理せる本年の內地輸出確定命令高は六千九百萬斤にして既に今日迄に約五千萬斤の輸出を見たれば命令輸出額は近く全部を了すべく加ふるに內地に於ける諸種の化學工業勃興に伴ひ曹達製造工業も次第に勃興し其の原料たる鹽の需要著しく增加し來り而して比較的價格低廉なる關東州鹽は同工業の上に歡迎せられつゝあれば確定命令以外更に追加命令のあるべきは當然のことにて結局本年の州鹽內地輸出高は九千萬斤乃至一億萬斤に達すべしと當業者は頗る樂觀し居れり（內には關東州鹽の內地輸入は內地鹽生產過剩の結果其法定輸入額も制限せられ前年に比し輸入減少すべしと）

▼高粱取引紛擾　大連取引所

にては九月限り高粱先物受渡しに關し數日來紛擾を重ね賣方の支那仲買商十二名は受渡不應の制裁として取引所市場出入を停止せられたるが紛擾の種子を蒔ける右十二名の支那仲買商は其後奧地の華客筋より僅かの差金問題にて紛擾をなし入場を停止せられ大豆其他一切の注文を取扱ふ能はざるが如きは仲買人として不都合ならずやとの詰責を受けたるに閉口し十二名の內數名の軟化者を生じ態度之と共に一變し既に取引所にては部を納入稱算したれば取引所にては六日右十二名を呼び寄せ將來再び斯る事をなさずとの挨拶書を認めしめ猶ほ一同に訓諭をなし斯くて其の入場停止を解除したるが賣方の支那商は猶ほ不平を抱けるものと見ゆ六日の市場は立會前既に形勢の不穩を示し立會後忽ち賣方の猛烈なる賣崩しを開始し斯くと豫期せる買方は極力其防戰に努め頻りに買進み是に大波瀾を生じたり特產出廻り期に入り取引所も繁忙を加へ來らんとする今日恐らく今後も多少の波瀾紛擾を免かれざるべし

◎金融と郵便貯金

朝鮮郵便貯金の九日現在は預入者九十六萬零五十二人金額九百四十三萬零八百四十圓にして之れを內鮮人別に擧ぐれば

	人員	金額
內地人	二三、七二六二人	七六一、三四二一圓
朝鮮人	七二、二七九〇人	一八一、六六七二圓

右の如くにして之れを前年同日に比すれば朝鮮人に於て十二萬四千七百三十八人金額四十萬餘圓を激增し內地人側は五萬二千三百七十六人金額百六十八萬圓を激增し此の勢ひを以て進まば年末には一千萬圓に達すべしと云ふが其の金額の增加は一般金融緩漫の影響を見るを至當とし人員の激增は當局の貯金獎勵策の效果なるべしと

◎地方經濟狀況（八）

黄海道載寧地方　仁川商業會議所調査

一位置及地勢　東は鳳山郡西は信川郡に接し南は海州郡北は安岳、鳳山に接す地味肥沃にして一望千里殆ど平野と稱し名あり

一農況、稻作　挿秧後些少の被害を見ず山間に於ては比較的減收すべきも其の他は非常なる良好なるが故に昨年に比し一割一分の增收の見込なるも尙ほより以上の實收を見るならんと

大麥、小麥　昨年不作にて一般に氣遣はれしも本年は非常の好果を收め昨年に比し大麥五割八分小麥四割三分の增收を得たり

粟　發育面白からず加ふるに降雨に遭ひし爲め成熟期に至り房狀少なく昨年に比し一割四分の減收を見るべし

大豆、小豆　共に良好にして昨年に比し一割五分小豆三割一分の增收を豫想しつゝあり

▲主要穀類の集散狀態　本郡は沙里院、新換浦、石灘に公認市場ありて郡內一圓及び安岳、信川兩郡の穀類は此の市場に集まるものなり而して鮮人仲買人は之れ等の穀類を買占め而して鎭南浦の新非商店其他に仕送りたりしが昨今麥の賣買期に入りたるを以て沙里院を根據地と定め共益社及び神戶鈴木商店の占むる所となり非常なる提携狀態に陷れりさきだに鎭南浦商人の奸策に弄せられたる一般農民は競ふて兩店と取引を開始し其の多くは沙里院に集まるに至れり如斯事情故に茲一兩年の後には取引狀態の變化を見るならんとは一般の口にせらるゝ所なり要するに郡中央に流るゝ載寧江を利用して之れを鎭南浦に送るは運搬上實に利便にして又た然らざる可からざるに之れを年來に依りて沙里院に送らるゝを見ても如何に商道德の尊ぶべきかを推知せらる可し今當地に於ける相場は白米上十五圓七十三錢同中十四圓七十錢同下十三圓七十三錢玄米上十一圓十六錢同中十圓六十三錢同下九圓九十三錢粟上五圓二十三錢同中五圓同下四圓七十錢

一主要物資の集散狀態　本郡は水運の利便あるにより日用雜貨の如きは其の多くを鎭南浦に仰ぎつゝあり而して一ヶ年總額十三圓に上り其の一割は安岳郡より二割五分を信川郡より移入す

一金融及經濟狀態　金融久しく沈靜を持續し來りしが昨秋來より穀物の賣行好況を呈し其の結果漸次金融も緩和し引續き本年に入り穀價の奔騰の氣勢を示し南井米小麥の賣買頗る旺盛にして而かも價格例年に比し四割高を唱へ居ることとて一層賣買の繁忙を見一般金貸業者の貸付高十八萬圓地方金融組合の貸出七千五百圓に達し金融的好況を呈するに至れり而れども昨今小麥及牛價の暴騰の爲め一般農民は頗る工合宜敷殊に中以下の農民に餘裕を生じ爲めに貯金も例年に比し極めて多し特產物としては繭八四二瓩、貸繭四一、四三〇貫、柴席九、一六〇枚、莞席一、三〇五枚にして重に海州、信川、鎭南浦に仕向らる

黄海道鳳山郡地方

一位置及び地勢　東は瑞興、平山二郡に隣し西は載寧、安岳に南は載寧、海州郡に接す地勢は概ね平坦にして平野能く開け到る處地味肥沃なり

一農況、稻作　郡內一般に天候適順にして生育良好なり昨今盛んに刈り入をなしつゝありて先つ平年作より一割五分の增收と見て大差なきが如し

大麥、小麥　播種より收穫に至る期間非常に好し昨年に比し大麥五割小麥三割二分の增收を得たり

大豆、小豆　共に昨年と大差なし

一金融及經濟狀態　現下沙里院農工銀行支店に於ける現金高內地人五萬三千八百六十四圓鮮人四萬二千三百五十九圓支那人三千六圓合計九萬五千二百五十五圓貸付金農業資金一萬六千七百十二圓商業資金十一萬七千六百五十二圓其の他百五十四圓合計十三萬四千五百十五圓なりとす而れども之れを昨年同期に比すれば預金に大差なく農業資金著しく增加し居れるが今後粟米の盛んなる出廻りを見ると共に貸出し金額を增加し自然金融小繁を呈すべし尙農民一般は小麥の高値に取引を了したる結果懷ろ工合よく內鮮人の小金貸業者は遊金多くして苦しみ居るものゝ如し

◎咸鏡線の工事近況

最近に於ける咸鏡線工事の狀況を聞くに

▲淸津羅興間　線路建設工事（十四哩七分）一工區は土工々事九分通り橋梁工事七分通り竣成し總體を通して八分六厘通り竣工せり

▲古茂山會寧間　線路建設工事（十一哩八分）第三工區は土工々事九分三厘通り橋梁工事七分五厘通り隧道工事左の通りにて總體を通じて八分六厘通り竣工せり

▲第一茂山隧道（三千三十二呎七）は大背切據は九月三十一日竣工し側壁巻築は南口一千四十八呎北口一千百二十一呎拱巻築南口一千二百四十九呎北口一千八十五呎に達す

▲第五茂山隧道（二千二百九十二呎）は側壁巻築南口一千三百七呎北口九百二呎拱巻築南口一千八十呎北口七百九十六呎に達す

▲第七茂山隧道（四千三百四十二呎）は導坑掘鑿南口一千九百十七呎北口一千九百十六呎大背切據南口一千二百八十呎北口一千五百四十八呎拱巻築南口七百廿二呎北口八百三十八呎に達す

▲金玉里茂山間　線路建設工事（七哩四分）第四工區は土工々事一分七厘通橋梁工事一分三厘通り隧道工事左の通りにして總體を通じて一分四厘の竣工なり

▲長斗蘭隧道（一千百二呎二）導坑掘鑿南口百四十三呎北口百二十五呎に達す

▲雲山台茂間　線路建設工事（十哩九分）第五工區は土工事三分八厘橋梁工事五分通り隧道工事左の通りにして總體を通じて二分九厘竣工

▲兎岩隧道（一千四百五十二呎）導坑掘鑿南口三百二十四呎北口三百九十呎に達す

▲中島隧道（一千三百九十六呎六）導坑掘鑿南口二十七呎北口十八呎に達せり

▲建築列車は清津起點三十二哩五十鎖谷坪停車場附近迄運轉し居れり

◎漢農々工資金貸附

漢湖農工銀行に於ける客月末現在農工資金貸出額重なるもの左の如し

大豆耕作資金	七千九百四十一圓
棉耕作資金	六萬四千四百四十七圓
人參耕作資金	二十九萬七千三百八十五圓
養蠶資金	三千五百八十一圓
水利資金	三千四百四十一圓
堤防及び灌漑事業資金	三萬四千七百七十二圓
開墾資金	十萬五千六百六十圓
果樹栽培資金	二千百九十圓
耕作種子肥料農具買入	一萬一千八十八圓
植林資金	二千八百十六圓
工業資金	三萬四千七百八十四圓

此の他を合せ合計に於て百三十四萬五百六圓口數四百四十三口人員二千八百六十九人となれり

◎古阜水利近狀

全北古阜水利組合の近況を聞くに掛札技師長就任以來起工準備に關する諸設計の調査を急ぎ東洋拓殖會社よりも各種の參考書類を送附したる由なるが各種の事情は其の起工を速やかならしむる能はず當初は本年中に工事の大半を竣るべしとの豫定なりしも目下の所溜池敷地等の買收以外殆んど手を延ばすを得ざるべしと

◎總監一行歸京

閑院宮殿下を釜山迄御奉送申上げし山縣政務總監、古海警務總長、横井技師、高橋砲兵大佐、和田鐵道局參事、遠藤秘書官、藤波通譯官其他の諸氏は十三日午後九時南大門著列車にて歸京せり尙立花師團長は午後八時五十分龍山著列車にて歸任す

◎小原長官入京

忠淸南道長官小原新三氏は事務打合せの爲十三日午後九時著列車にて入京天眞樓に投せしが兩三日滯在の上歸任すべし

◎入江課長歸任

間島及び咸鏡南北道經濟狀況視察中なりし入江總督府理財課長は十三日午後五時十分南大門驛著列車にて歸任せり

◎殖產課員の出張

東拓殖產課にては足立課長以下目下秋穫小作米檢見の時期なるを以て大半地方に出張し居れり尙ほ足立課長は全南方面出向中なるが下旬に至らざれば歸京せざるべしと

◎鑛石分析所設置

樂山金鑛主小林藤右衛門氏は豫て明治町の自邸鑛業部に鑛石分析所を建設中なりしが今回設備整頓せるより老練なる技術者を招聘し斯業の爲め汎く鑛物の鑑定、分析は勿論鑛山の鑑定、鑛業の設計其の他鑛業に關する一切の事項に對し實費を以て迅速且つ正確に一般人士の依賴に應ずる由探鑛家に取りては福音たるを失はざるべし

◎生果の哈爾賓行きには

當業者の注意を要する事あり　京城住樫品市場代表社員中村友次郎氏は目下哈爾賓に於て生果蔬菜の試賣視察中なるが最近同地方面の狀況につき所見を寄せ來れり其大要を紹介すれば

◉當地は聞きしに優る宏大繁昌の地にして商業は殷盛を極め居るも當時東淸鐵道浦鹽線長春線共荷物の山を爲し積み居るが軍需品輸送の爲め貨車不足となりて商品の輸送は延滯の困難に陷り居るに付各荷主は各關係官衙に向て輸送を迅速ならしめん事を陳情請願運動に努めつゝ在るも無き袖は振られずとて東淸鐵道に於ても殆ど困却の模様なり

◉哈爾賓に到る輸送機關は三路在りて一は浦鹽より哈爾賓に通過荷物として來るもの通過荷物は露國の關稅を免除せられ（ボグラニチナヤ）に於て支那關稅を課せられ通過し來るものなり本年浦鹽にも荷物は山の如く囤へ船にては陸揚げ人足不足の爲め十日間或は十五日廿日間も陸揚げの出來ざる場合もあり且つ又漸く陸揚げ濟となるも鐵道輸送は軍需品を以て殆ど充當され居るに付何日間に商品の輸送出來るや疑問なり又大連港より滿鐵經由東淸鐵道への聯絡荷物及び朝鮮鐵道經由東淸鐵道への聯絡荷物は長春及び寬城子に於て塡止められ每日十輛乃至十五輛の發送を爲し居ると雖ども東淸の貨車は滿鐵の半分位に付滯貨物を容易に輸送し盡し得るとも思へず該方面にも山の如く荷を見るなり。

◉又關東都督府は虎列拉病豫防の爲め大連港及び安東縣の關門に於て嚴重なる檢疫消毒を施され居るが爲めに荷物の通過出來ず困難なる様一般に想像せられ居る様なるが之れ等は荷物發送地に於て用意の周到を缺くが爲めにて關東都督府の命令は虎列拉病發生流行地の物品は『フォルマリン』三十五倍の溶液を以て洗滌消毒を施し檢疫官の證明書を荷物に添附して送荷し又流行地に非ざる物品は其旨檢察官の證明書を荷物送り狀に添附して輸送する荷物は大連及び安東縣に於て外皮即ち荷造りの外より石炭酸を噴霧器にて吹き掛け消毒を爲し得るが故に之れが爲め荷物の停滯する杞憂を要せず唯東淸鐵道の貨車が不足困難を感ずる一事なり

◉當時消毒藥に付ては其結果を知る人少なく爲めにフォルマリン液にて洗滌せば變色變質を爲すが如く懸念するもの在るが如きも小生が此度、荷物として携帶せし五箇の林檎は安東縣に於て四箇は外皮の消毒をなし一箇は中品を取り出し溶液にて洗滌せしが揮發性の藥品なるが故に忽ちにして乾き今尙携持し居るが十月三日に洗滌したるも今日迄何等の異狀を認めず反て甘味を增したるやの感あり尙保存試驗中なるも此模様なれば變色變質せざるものと存ぜらる

◉尙又生果は虎列拉病に付て有害物で無く反て豫防品で在ると申す事を安東縣警察官にも辯明し置きたり、其理由は虎列拉菌に酸素を注入する時は十數分間にして殺滅せらるゝ事は專門博士の學說證明に依りて明瞭なるなり然れば生果は酸素を含有せざるもの無きが故に殺菌劑となる其黴菌の傳播媒介を爲す物質のものに非ず補食の滋養品なりと云ふ理由に基くものとす

◉大連よりの運賃一棚は五十斤物にて長春迄廿八錢四厘弱、寬城子より十八哥弱、大連稅金は元價一兩として五分稅凡そ日貨の七八錢引取貨四哥乃至四哥半、菓子等は凡そ右比例に準じて計算せば可なり油鹽より哈爾賓迄は平時は一棚凡五十哥位なるも只今の處は六十五哥乃至七十哥を要する由、只今支那商人は漸次日本商より菓果蔬の買入れを爲し輸送し來り居るも途中中々困難の由也

◉要するに今日にては此困難を切り拔け得たる者は勝利者となりて利益を占め得る者にして日本商人としては支那商人の模倣なる敵手に對しては優柔不斷の態度を執り居るの時代に非ず進取奮鬪して我國の國產は我國人を以て販路の擴張に努めずんば日本國民の恥辱かと存ぜられたるに就き聊か感想の儘を報告せんと欲する次第也

◎長春より

一第一信一　琴花庵

此の月六日の夜京義線に優待されて太平に夢みし二客も、鴨綠江の長橋打ち渡りぬれば、時疫流行地よりの旅人とありて、診療嚴かに小面倒なる手荷物の御檢査あり。幾何の關稅納めいれて安奉線には赤切符なり。當年の勇士雲の如く、千駄の糧を運んで、萬雷を謳がせる、蛤蟆塘、鳳凰城、橋頭を過ぐる驛路の山寒みて木々の梢の紅葉せる、秋風徒らに枯草を拂ふて轉た怨魂の何處にさまよふを偲ばしめむとす、戰國武士が弓矢の意地の打解けて新たに成れる協商に、今し我等が鮮物產擬げて通商の途を彼の地に求めむとするも時の經過の戲れかも。午後六時二十分奉天に著し九時大連よりの列車に乘換へて北行す二客の坐せるは貨車並のものにして腰を鉗する空席無く、板間に蓆を敷きてうづくまるなりけり、同乘雲霞の群は支那苦力のみ肩摩して拮屈甚しく、我が兵士武裝して車內を警備す、僅かに頭を擡けんとすれば蒜の臭氣に接し、脚を伸ばさんとせば唾液の洗禮を受く、日支の親善は半風子の接觸に依りて情趣殊に深し。八日爽昧長春に著く、霜積むで寒し。長春は昨今我が守備軍の兵を練らむとするに會して旅舍は兵士の宿舍に割當られ一般旅客亦甚だ多く、我等の宿すべき一室もなかるべし、幸うじて名古屋旅館の若者が斡旋にて南洋旅館といへるの一室を割愛せられしが、午後三時名古屋旅館より客室明けりとて迎へに來にければ、チカの裝ひ美はしきぞが二十疊敷の最上室に轉す、二間床には芳文の一軸を掛け萬端の設備優に巴城館、天眞樓を凌駕する長春第一の旅亭なり明後十日には此室に關東都督を迎ふとかや。京城を發して二日汽車に旅舍に境遇の頻りに急轉直上下すること梭に似たり、蓋し人生の浮沈も亦復斯の如し。（十月八日）

南言北語

東蒙の怪傑とか名な男ッ鐵木眞の再生とか大分の評判で男を振りを上げて居た巴布札布も時に利あらず遠征の鴻圖成らず空しく血涙を呑んで蒙古に歸つたが▲壯心遂に止み難かつたものかあつたのか今度は方面を更へて熱河を屠り北京に殺到せんとして▲胡軍挫土巴林を襲ひ林西を衝いた迄は好かつたが姜桂題の一擊に哀れ軍は破れ巴は戰死したとの報があつた▲惜しい事だが風雲兒も遂に屍を馬革に包んだから滿足ではあらう▲宗社黨ではないけれど嗚呼壯圖碎けぬ風蕭々として易水寒し壯士一度去つて又た歸らず兎に角彼は快男子であつた▲米國のヘンリーフォードと云へば自動王として有名な男で歐洲戰爭を止めしむる勸誘の爲汽船一艘を艤裝して歐洲に派遣した愉快な人である▲此の人は此様な事をする丈け非常な平和論者であつて大統領が米墨國境防備の爲に全國守備隊に動員した時▲フォードは自分の工場に使用して居る幾萬の職工に今度兵隊に應募した者があつたら留守中の家族には一文もやらぬと云ふ布令を出した▲之を聞た市俄古トレビューンは大に憤慨してフォードを攻擊し無政府主義者だとまで論じた▲するとフォードも非常に立腹して百萬弗の誹毀訴訟を起した相な▲米國人のやる事は大分大きい

◎本日朝鮮總督府公文附錄

◎滿洲製紙成立 [illegible] 付を終りて作業に着手するは [illegible] 十二月下旬なるべしと同社 [illegible]

吉、西村輔三、[illegible] 衛志、太田惟一、佐近各郡駐在棉作技手を召集し道より一路開鑿工事は十一月を着手し十二月 [illegible] 十六、七兩日の大邱神社例祭は虎 [illegible] 學校組合は當選通知をなしたるも [illegible] きざきなる去月降雨の爲め商盆を [illegible]

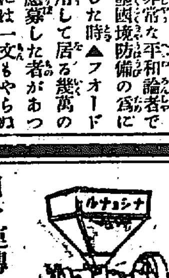
暴風警報　十月十三日午後三時 [illegible] 低氣壓位置滿洲北 [illegible] 發警風強かるべし [illegible]

米國サンレヤイン、オーク
◎ストーブ各種約四十五個體裁優美
◎破格廉價にて販賣す
全部御引受の方には特に安價御相談に應ず
仁川本町三丁目　世昌洋行

十月十四日より三日間
新柄冬物大賣出し
京城本町二丁目　東永呉服店　電話六八二番

メリヤス毛布ハ
丸一綿布部　電話一〇一九番

本月十五日午後一時より
京城岡崎町大二商會構內に於て
木材大競賣を開く
品物　鴨綠江材、北海道材、內地材板、柱、貫、小割、木摺、挽材、原木背板鼻切類各種多數
木材の需要季節は今なり御入用の方は何人を問はず御買取隨意に付安價に且御便宜に求め得らるゝ本競賣にて御買になるが最も御德用なり
材木商　登錄商標　京城岡崎町　大二商會

目下開會中の山形共進會に於て


日々運轉し其の實力を示しつゝ有り
陸軍御用達製造販賣元
精米麥精は唐箕附に限る
唐箕附　ナショナル精米麥機
絶對無比の實力と信用とを有し幾多の精米機中其類例を見ざる
を御使用ありて事業の成功を期せられむ事を
說明書無代進呈
東京淺草區諏訪町廿番地　精工商店
電話下谷二二七一七番　振替東京一二六六八番

特約販賣店
朝鮮京城永樂町二丁目　吉田九助　電話一八七一番

●英姿颯爽御快活に渡らせらる

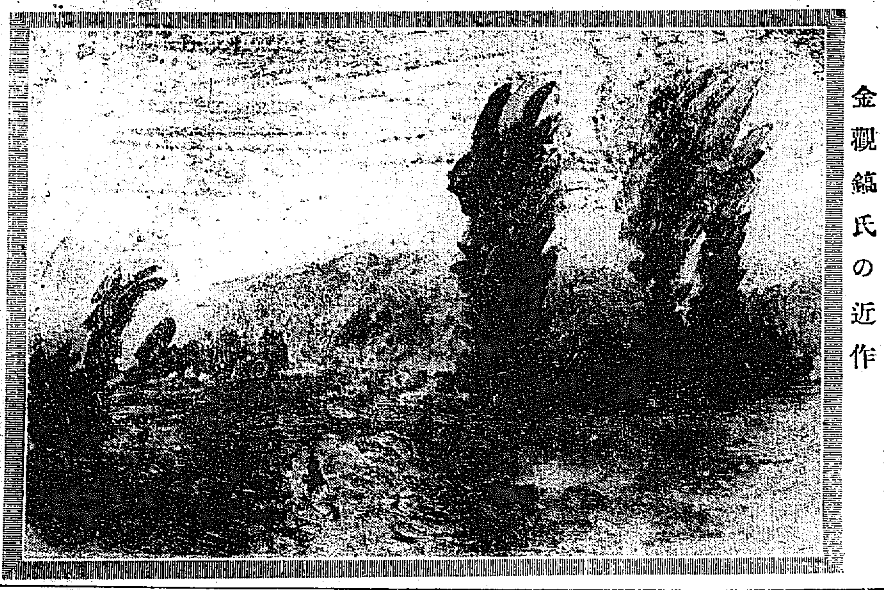
御機嫌麗はしく釜山御出帆 —某奉送高官謹話—

釜山まで閑院宮殿下を御奉送申上げ十三日午後九時歸京せし某高官の謹話によれば十二日夜殿下は十一時頃まで隨員及奉送の諸員と長途の御旅行に御疲勞の御模樣もなく御對話あり漸く寢臺に入らせられしが十三日は早朝御目覺あり軈て六時十分御召列車の釜山に着するや官民軍隊學校生徒等多數の御奉送を受けさせられ御機嫌麗はしく連絡船高麗丸に御搭乘遊ばされたるが出帆まで約三十分の間終始御起立の儘擧手の御答禮あらせられ各員御奉送を受けさせられしは御思召しの程申すも畏き限りなれ、此日海上稍波浪高く御航海如何にと案ぜられしも平素頗る御健康に渡らせらるゝ御事とて素より御恙なきことと拜察す尚ほ如何に殿下が御健やかなるかは申し上ぐるも畏く多數の隨員は何分一月を越す旅行續きの事とて隨分旅疲れの出し模樣にて中には可なり疲勞せる隨員もありしやう見受けられしに殿下に於かせられては英姿颯爽頗る御快活に渡らせられ一同歡びに堪へざりし云々

□玄界洋上風波高し

『此の位動搖する方運動になつて宜しい』殿下には斯く仰せ給ふ

閑院宮殿下には十三日午後五時下關御著柴十二師團長、井上要塞司令官、黒金山口縣知事等官民五百餘名奉迎殿下には御機嫌麗はしく御上陸山陽ホテルに御休憩同七時十分御發京都に向はせられたり、隨員安達公使の談に曰く釜山出發後海上荒れ船體動搖甚だしく侍從の者何れも船暈を催せしにも拘はらず殿下には少しも船暈を催されず『船中にては此の位動搖する方却つて運動となりて宜しい』と仰せられ最も御元氣にあらせられしと（門司特電）



金觀鎬氏の近作

●朝鮮の産んだ天才の畫

文展に入選す『夕ぐれ』の譽れ

這回文部省美術展覽會第二部洋畫の豫選合格に決定した內で朝鮮青年畫家金觀鎬氏の『夕ぐれ』が加はつて居るのは朝鮮洋畫家の爲めに萬丈の氣を吐けるものといふべきである

▽金氏は江山の雄を誇る平壤の都が生むだ天才の一人で今春東京美術學校を第一番の成績で卒業して以來一管の筆に半島の風物を描いて居る、這回入選の『夕ぐれ』に就き氏は謙遜しながら語つて曰く『『夕ぐれ』は夏の夕方二人の婦人が河畔に立つて水を浴びつゝあるところを描きましたもので背景は自然平壤の子供の時から見馴れた

▽大同江の綾羅島の景色になつて了ひました『夕ぐれ』は別段文展に出品する積りで描いたものでなく唯だ今春卒業の際に描いて學校に遺して置いたものに過ぎませんが這回入選したのは愉快に堪へません、畫の大きさは四尺五寸四方畫題を撰びましたのは數年前平壤の附近で夕方

▽水浴の婦人達に行き逢ひました時朝鮮の習慣として遠い距離からその人達を避けて通らねばなりませんけれども突嗟の場合溥ぼの河畔と裸體の婦人達とを甚だ面白い畫題であると感じて描いて見ました、モデルは古い習作の中から一人の人物を取出しまして描きあげましたがあまり會心の作とも思ひませんし併し這回心配しましたのは曾て落選した作品の中には學校卒業生の

▽第一席のものが混つて居りましたので自分のも這回は駄目だらうと觀念致して居りましたが先千五百四十六枚の內で九十二枚の合格中に加はつたことは此の上もなく愉快とするところでございます』

●今年は小泥棒が尠い

虎疫の産んだ僥倖

秋風が立ち初めると內鮮人の小泥棒や空巢覘ひ掻つ浚ひなどが殖ゑて市中では被害が多いが今年は京城で其の被害が頗る尠い警察署當局者の談に依ると京城の各町の中でも本町三四丁目、若草町、黄金町三、四丁目、櫻井町一二丁目などは常に盜賊の被害の割合に多い所であるが其他の各町共昨今盜難に罹つたといふ屆出が甚だ尠い、是れは虎列拉の發生が

▲泥棒に打撃を與へた結果であらう警察の方では何んなに虎列拉が流行つたからとて犯人檢擧の手を緩めた譯では無いが或る町にコレラ患者が一名でも發生したら、當非番巡査は勿論、應援巡査迄も加はつて患家附近を隔離し該區域の交通遮斷をなし其處には常に晝夜の別なく正服巡査が頑張つて見張りを行つてゐるものだから關所が多い爲め裏路など容易に通れない個所がある是れが泥棒の

▲活動を阻害する源因とも見るべく又他の方面からは一般居住者各自が警戒して外出する者が少い隨つて小泥棒が侵入する隙が無いそれから警察署の方では檢病的戶口調査の爲め受持巡査は殆ど每日のやうに各戶を廻つてゐるから是れも怪しい者の徘徊を防遏する一つの手段になる然しコレラの爲めに泥棒被害が尠くなつたといつてもコレラが猖獗を極めたら泥棒以上に恐いから何れにしても油斷は出來ない其れに日虎列拉の發生も稍下火の姿でコレラに對する警戒が緩むと共に各商店では冬物大賣出しが初まつたから又々婦人子供などの外出も多くなる時節であるから此次は各自のコレラに對する警戒を泥棒や火事に移さねばならぬ

●兇賊逮捕さる

平南道陽德郡生れ金河鼎又は金永培事金根培（四三）は數名と共謀し明治四十四年五月中慶北道奉化郡小川面長金載洛を銃殺し同六月十一日其官舍に千泰和及び千聖和を毆殺し其後數箇所にて強盜放火等をなし妾を隱し居たるが數日前遂に醴泉憲兵分隊の手に逮捕され大邱地方法院檢事局に護

●猛烈なる旅團對抗戰

北軍南軍の一部隊を全滅す

十三日午前范家屯驛北方新開河附近にて十七師團演習南北軍騎兵斥候の衝突あり續いて北軍は平頂山を固守する南軍の一部隊を全滅し步騎砲工機關銃隊を加へたる南軍の優勢なる部隊と李家屯西南方に於て遭遇し猛烈なる旅團對抗戰を行ひ南軍は劉房子驛に退却す北軍は追擊を續行し千家窩棚に於て相對峙して露營せり十四日拂曉は北軍より攻擊を開始する筈にて星野統監は十四日劉房子に統監部を移せり川村元帥、白井少將支那及び露國觀戰武官十數名從軍す（劉房子特電）

●自轉車小兒を傷く

京城永樂町二丁目居住山本清次（二七）は十一日午後一時頃仁義洞を總督府醫院に向け自轉車にて疾走中前方橫切らんとしたる苑南洞李泳夏長男李段男（八）に衝突して頭部に打撲傷を負はせ人事不省に陷らしめたる騷ぎに鍾路署より警官驅付け段男を總督府醫院に擔ぎ込みて應急手當を加へ漸く蘇生せしめたるが餘病の併發せざる限り生命には異狀なかるべしと

●夫婦強盜控訴判決

東萊福田別莊の番人を殺害し釜山地方法院にて死刑の宣告を受たる吉木又平及び同人妻りうの控訴審は十二日午前九時大邱覆審法院に於て開廷又平に對しては控訴を棄却し前判決通り死刑、妻りうに對しては前判決を取消し無期懲役に處する旨判決言渡ありたるが兩人共更に高等法院に上告すべしと

●配達は賊

熊本縣飽託郡川上村生れ京城本町四丁目居住前科一犯今井憲彦（二七）は市內某新聞屋の配達に從事中五月二十日より六月十七日迄の間に前後數十回の集金したる新聞代三十五圓餘を橫領して遊興費に消費し九月六日には永樂町二丁目木村某方にて十八金製眼鏡外一點を窃取し懲役一年二箇月の處分となれり

●公印を盜捺す

咸陽郡龍江面孔德里居住閔琮鎬（三八）は龍江面書記なるが同里居住の代書業金宗洙（一）と共謀し十月五日迄に前後十回に亙り面長の公印を盜捺して領收證を僞造し面民より納付したる酒稅金約二十五圓を橫領消費して遊興しゐたる所を本町署の手に檢擧されたり

●支那人の大賭博

平壤南山町居住王文那人王殿順（三〇）大同郡古面野泉竟支那人（四四）同所趙六（三〇）平壤港町居住張三和（四六）大同郡古面錢[illegible]（四五）同郡古面[illegible]（三二）の六人は去る十日午後一時頃前記王慶順方に於て大金を賭し紙牌を弄して『マーチャン』と稱する賭博開張中平壤署の刑事に取押へられ目下同署に於て取調中なり

●明巣覘ひ

京畿道始興郡新北面銅雀里金古斗釗（二九）は前科二犯ありて八月一日より九月二日迄の間に龍山元町二丁目太田某方に忍び入り金品を窃取したるを手初めに外十數箇所にて明巢、掻つ浚ひを働きたるが龍山憲兵分隊に檢擧せられ京城地方法院にて懲役三年の處分となれり

●故秋山視學官葬儀

總督府視學官故秋山鐵太郎氏の葬儀は十三日午後五時より大和町開教院に於て營まれたり當日の會葬者は山縣政務總監代理小松局長、宇佐美、國分、松永の各長官、持地、鈴木の兩局長、芳賀、森安の各博士、中村、坂出の兩技師、井上東拓理事其他各課長、屬官、官公私立學校長及び職員民間有志、中學生等無慮千餘名に達し實に近來の盛儀なりき式場には各方面より贈られたる造花生花數對列べられたり式は佛式讀經終りたる後ち宇佐美內務部長官先づ弔辭を朗讀し故人が朝鮮教育界に貢獻したる甚大の功績を讚へて聲涙共に下り會葬者又思はず袖を絞るもの多かりき次で京城師範同窓會、縣人會、友人總代等の弔辭朗讀あり最後に小河原視學は各所より寄せられし二百數十通の弔辭及び弔電を靈前に捧げ一同燒香の上六時全く終了せり

コレラ彙報

▲仁川全く終熄

一時猖獗を極めたる仁川の虎疫も係員の熱心なる努力と一般市民の周到なる注意に依り十日以來一名の新患者も發生せず遮斷區域の如きも殆んど解かれ松峴里及び北平里の一部を殘すのみとなれるが該區も一兩日を以て健康者の保菌者檢鏡終了と同時に全部解除さるゝ由なれば全く終熄を告げたりと云ふを得べし（仁川）

▲海女三名

九月二十七日仁川より十五名の海女を乘せて出帆せる濟州島舊右面全東所有帆船は本月五日同島キトク里に到着しが航行中二名死亡者あり外に一名は上陸後死亡せしより醫師出張診斷の末何れも疑似虎列拉と決定す

▲全鮮患者一千餘名

十二日現在の全鮮虎疫患者は京畿道五百三十忠清南道五八全羅北道十五人全羅南道六十四人慶尚北道九十三人慶尚南道二百五十五人黄海道五十五人平安南道一人平安北道一人江原道一人咸鏡南道四人なりと

▲仁川應援隊歸還

仁川虎疫豫防の爲め警務總監部より派遣應援中の巡査十五名巡査補十六名は十一日歸還

えんげい

▲有樂館　十三日より吉田菊五郎の水藝を加へ特別興行の筈なりしも一行巡業先の都合により來る十六日に延期し其他は豫告の通りのものを上場する由なり

▲壽座　市川市十郎一座は目下休場しつゝあるが昨紙朝刊に十七日より再開場とありしは誤まりにて來る十五日より十八日まで四日間興行の由

[illegible]組成り合資會社として最近登記を[illegible]なしたり同社は本店を大連市松山臺に置き工場は營口牛家屯附屬地に目下建築中なるが機械類は來月下旬に來らざれば到着せざるを以て其の据[illegible]賞をなすべしパルプ原料は滿洲に豐富なる高粱莖を應用するものにて[illegible]原料の豐富販路の廣大前途有望の見込なり出資者は石本鏆太郎、大竹[illegible]社員は營口[illegible]

大邱

▲棉作[illegible]郡守會議　慶北道[illegible]は[illegible]棉作重要事項打合の爲め過般慶山郡に於て郡[illegible]

●[illegible]合會[illegible]

●工事著手　大邱東城町二丁目より京釜街道に至る延長二百六十七間の道[illegible]

[illegible]步迎日郡五百七町步醴泉郡二町步計八百六十町步なり

▲神輿渡御式　來[illegible]

●不承諾　金泉學校組合議員に當選せる城井惟隆、井上平吉兩氏に對し同[illegible]

[illegible]し結果物資集散の[illegible]を得つゝあり目下稻刈期に入りたれば市場入[illegible]少[illegible]

[illegible]にして金利は內地人三步內地人對鮮人四步鮮人間四步五厘にして强含みの方なり

[illegible]送さる（大邱）

●警報　十月十三日午後三時　低氣壓位置九州西方海上低氣壓示度七百四十六粍進行方向北東記事北西風強し警戒區域全羅南道慶尚南北道の海岸

良妻賢母

●女子の本分

▲料理と作法を心得ねば女一生の損

▲嫁入に五荷の仕度にも勝る貴くして—

「重寶なるは板垣伯夫人會長大隈侯楠木男顧問の東京割烹講習會發行家庭料理及び禮法の講義錄なり」

▲料理の秘傳と作法の奥義　料理の秘傳と奥義は夫れ〳〵料理の家元や禮法家の家秘にして從來なかなかに容易に授けざりしが同會は家庭料理及び家庭の改善を主旨として居るものなれば如何なる秘傳奥義もどしどし講義錄に掲載公開されたれば志ある人は此機會を逸せず早速入會して之等を會得せらるべし左に其內容を説明して置かん

▲禮儀作法と家政　本紙愛讀者に勸む　禮儀作法心得の有無は人の品位に關するものなり然るに人々日常行ひ居る事の中に判らずに行つて居る事間違ひ或は半信半疑の事等多々あれば正しきことに就き實用的説明をなせり例せば日常の禮儀▲座り方、立ち方、歩み方▲酌の心得▲各場合贈答の心得▲西洋食卓法▲日本食作法▲婚禮の心得▲忌服喪儀心得其他を圖入りにて説明し家政に於ては一家の內政を始め主婦の心得べき事を説明せり

▲年中行事と料理　▲菊見▲七五三▲歲暮▲大祓▲お正月▲門松▲正月飾り▲婚禮▲年忌等の年中行事より▲古稀▲還曆▲喜の字等の人一代の行事を説明して各場合の料理を講ず

▲日本料理　▲一般家庭向惣菜料理を主とし▲即席料理▲安價料理▲晩酌料理▲野菜料理▲老人、小兒、病人の食物▲松茸栗飯の炊き方より▲會席料理▲本膳料理▲各種儀式料理等を説明す

▲西洋料理　▲一品料理▲日本人向料理▲各國の料理▲家庭用輕便食パン製法▲コーヒー及び紅茶の入れ方▲西洋人日常の食事其他澤山あり。

▲支那料理　支那料理は世界各國の料理中最も進步せる滋養に富めるものなれば每號十數種を講述す。

▲和洋菓子製法　家庭の娯樂と實用を兼ねたる高尚なる和洋兩様の菓子の製法を説明す。

▲漬物の漬方　漬物は日々の食事の必要品にして一見平易なるが如くして眞の鹽加減に至りては甚だ六ケ敷ものなり其の上手下手材料の撰擇如何は一家經濟に關するものなれば心得べき事なり。

以上の各課目總て同會附屬帝國女子割烹學校と禮節研究會とにて斯道の大家の研究教授せるものゝ

假名さへ讀めれば誰れにも判る様親切に綴述せる實用的通信講義錄にて今日迄に男女十有餘萬人の卒業者を出せり。

▲今回新學期を開始　全國に向つて男女會員募集中なるが會費は一ケ月僅かに金廿五錢三ケ月一圓六ケ月一圓九十五錢一ケ年三圓六十錢にて半年終業一年卒業なり而かも每月送附さるゝ美麗なる講義錄は後に綴めれば立派なる藏書となり一生の相談相手となるべし。

▲入會手續きは極めて簡便にて「ハガキ」に講義錄送れと書て申込ば直に會員として送本し會費は後に其地の郵便局より集金に行く故送金の手數もなし目下新學期開始中故入會の好機會にして

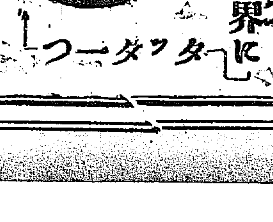
▲五大特典　入會金免除、料理必携進呈、六月前納者に家庭寶典進呈一年前納者に婦女通寶、紀念メダル進呈等ありて入會者の利益此上もなし何卒御講讀あれ

▲內容見本と規則書を一見したき人には申込次第無代進呈しつゝあれば遠慮なく

東京本郷元町一ノ三　東京割烹講習會へ申込まるべし（振替口座東京一九四一〇電話下谷三六九二なり）

髮をしなやかに　丈長がく　美しく房々と　漆のやうに　黒くするは

廣い世界に「タッタ一つ」



パール煉香油があるばかり

靜とは　パール愛用者がおつしやる實話であります

本舗東京　平尾銑也商店　關西代理店大阪　平尾贊平支店

女鳩 渡邊默禪

(一三) 懺悔

其時ふと氣のついた鳩子は、衣兜から小さな洋刀を出して源太の背に廻つた兩手の縄を切つてやつた。ぷつりといふ音と共にその手は自然に腰へ滑り落ちた。かくても猶は幾分の警戒心を放さなかつた大野は、思はず目を欹てた。鳩子は無頓着に前へ立つて、踏伸した脚部の縲紲までも解き去つた。大野は聊か不平だつた。そして用心深い目で源太を見戍つてゐた。

『お前、もう起きたら如何。』

鳩子は背を揺ぶるやうにした。と、縄を切られたのを知らなかつたほど泣き崩れてゐた源太は、ひよいと起返つて瞬きしながら鳩子を仰見げた時に、始めて眼を摩らうとした拳の自由に動くのを見出して、悔乎したやうに自分の體を眺めた。

『あッ、縄を解いてお呉んなすつたんですか。』

『ね、爾うなの。』

『有難うござんす。』忙しく坐り直してお辭儀をしたが、忽ち愁然として涕を啜り上げた。『併しお嬢さん、この縄を解いて下すつたのはお情のやうで、却つてお怨の種でございますよ。私をふん縛つたのは大野さんぢやなくつて、この私でげす。自分の罪が自分の兩手を後に廻したんでげすから、私アその罪の滅ねるまでは自由になられる體ぢやごせねせん。どうぞお願ですから最う一遍しつかりお縛んなすつて、そこいらの谷へ突落して凍ね死をさせるとも、御存分に警官に突出して下さるとも、御存分になすつてお呉んなさいまし。あゝ私ア如何してこんな智慧のねえことを爲やがつたのか、自分で自分の氣が知れねえや。さアお二人さん、何にも申しやせん。元々ほりお縛んなすつて、警察へ突出すのが面倒なら、手輕に穽の中へ生埋にしてお呉んなせい。私ア最う覺期を極めました。さアどうぞ早く片をつけなすつて。』

憖う言つて身悶した。鳩子は慈悲の眼に冴えた光を見せて

『そんなことを爲るくらゐなら、先刻から餘計なことを言つて聞かせあしないわよ。どうにかしてお前の心に光が出て來るやうにしたいと思へばこそ、いろ／＼と異見もして上げたのぢやありませんか。その眞心さへ徹れば決してお前の自由を妨げはしないの。夠して警察へ突出すのなんのつて、そんな邪慳なことは能るものですか。』

とは又た餘りに寛大な辭である。情も程度を超ゆれば愚に近くなるではないか——と大野は傍ではら／＼しながら聞いてゐた。けれども鳩子は飽までも無邪氣であつた。

『するとお前、本心から悔いたのかね。全く自分の非行が悟れたの。』

『へ、もう何だか知らねえが一思ひに只死んぢめえたくなりやした。あゝ何だつて、こんな神さまのやうな御さまのやうなお嬢さまを、こ、殺すなんて大膽な了簡になつたんだか。まるで、き、き狂人の眞似をしたやうな馬鹿／＼しい話でげす。何を隱しませう、お嬢さん。大野の旦那も聞いてお呉んなさいやし。私ア今日て今日まで、このお嬢さんをこんな情深いお方だとは、夢にも思つちやア居ませんでした。何でも私に此事を頼んだ奴の話によると、根が女優だか藝者だか得體の知れねえ女の腹に出來た落し胤だけに、お茶ッぴいで生意氣で、我儘で、虚榮が強くつて、始終男狂ひをしちやあ、お父さんに心配苦勞のかけ通し、大河野家の持餘し者なんだから、あれを彼の儘にしといたら、どんなことを仕出かすか知れあしねえ。娘一人の爲に子爵家の名譽が汚れて、華族社會から除物にされた日には大變だから、今の内に手取早く殺づけて了うのだといふもんだから、私ア事實爾うだとばかり思ひ詰めてゐたんでげす。』

銀牌受領 栗饅頭は 名産平壤栗を以て製したれば風味佳良又は内地土産として最好適品なり 本町二丁目電話二九三〇 千利堂

〇鼎坐句會

假橋のまゝの村なる礁かな
繼母の怨解くに由なし砧打つ 東村
只二つある踏板や芋の月 (假所とは名ばかりなり)

〇
芋臭れて村が養ふ嫗かな
たのもしく砧月夜を旅しけり 北星
憲兵が取りくれし宿の砧かな

〇
芋秋や老馬恃みて生く農夫
降がたつ扉に灯顫へり遠砧 山民
芋畑や浪をおさめて日沈む

毛判 ブラシ 製造 京城大和町一丁目(日之出橋角) 岩崎商會

新刊紹介

▲眞宗全史(文學博士村上專精著) 總對に眞宗の圈外に立ち研究的態度を以て闡揚せるもの箕を遠く眞宗の本源たる淨土教の傳來に起し序論百二十有餘頁に於て日本佛教全體を大觀し來り次で廣く淨土教發展の概況を叙述し本論に入りて先づ宗祖親鸞上人の傳を研究し次に諸派分立の概況を叙し後特に本願寺に就きて其の沿革發展を明かにし德川時代より明治の末年に至る千三百有餘年の歴史を詳述せり蓋眞宗は我國佛教中最勢力ある宗派にして又最も多く疑問を存せるもの著者は之を數へて親鸞聖人蓮如上人の人格上の疑問、一部人士の所謂客觀的にして純他力教なる眞宗が佛教の根本義と合致せざるべしとなすの疑問、無戒無律にして肉食妻帶を許すの疑問、古來他宗派に見ざる幾多の迫害を被りたる疑問、然し眞宗が却つて益々榮え來りし本願寺の成信他に照するに至りたる不可解現象の六こし之に對する紛然たる幾多の異說を取捨評論する事極めて快明確實欣然たり眞に眞宗史たるのみならず又日本佛教史たるの價値あるべし好著たるを論を俟たず(菊版洋裝八百餘頁三圓東京市小石川區原町六丙午出版社)

▲布石攻合置碁必勝法 上下二卷より成り上卷二十三局下卷四十八局を收む六段瀬越憲作氏が三平の日子を費し細心注意研究せるものにして從來置碁の動もすれば陷り易き攻勢對守勢の形式的布石の說明より更に進んで實戰に就て黒白攻防の手段技分の手順等を解說する實に極めて懇切丁寧なり此種著中稀に見るの好著と謂ふべし(一圓東京市日本橋區北鞘町一〇大阪屋)

▲日の丸(十一月號) 八錢東京府荏原郡エビス文敬社

▲大日本新聞(三一四) (五錢東京市麹町區有樂町一の四共社)

▲生活の力(五三) 一錢東京市京橋區木挽町六の一〇共社

▲カット畫報(大祝特別號) 十錢東京市京橋區木挽町二の一三共社

▲正則中學講義錄(三學期の二) 會費月五十錢東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會

◉食料博覽會 既記の如く來廿八日より名古屋市に開く第二回國產食料品博覽會は出品人員三千六百餘名出品點數五千七百二十七に達し尚續々申込者ありて爲に會場の狹隘を告ぐる盛況にて主催者は目下會場擴大に腐心せり出品希望者は速に名古屋市南小川町同會事務所へ申込手續きを了するを要す因に同市に於て同會の會名と酷似する會名を以て同時期に開催する怪しげなる類似會あり警戒を要すと

▲僕は御祇の初號以來の愛讀者なるが此讀者の領分の如きは中々近なる社會現象の表現さるゝ所なれば讀者の著目する者多きを以て吾々愛讀者たる者は進んで本欄を利用したきものなり(—)

(愛讀者)▲毎年春秋の二季には學校の運動會などがありますが成る丈け日曜祭日などを潰さぬ様な日取りにして欲しい土曜日位に催したら翌日の日曜が休めることになるので子供の爲にも家庭の爲にも好都合である(保護者)▲京城には何々會と種々の會が組織されて居るも吾人の智識を補供す可き眞面目なる會のなきは遺憾なり何卒木曜會又は經濟研究會の如き會を今少し通俗的に組織した様なもの、生れんことを望む(温望生)▲御苑行電車の本町終點に一寸した待合所にても設けられたし雨中は勿論のことこれから先き寒くなれば乘客は非常の迷惑である(電車客)▲電話線や電燈線を新設したり補修したりする時に他人の家に一言の斷りもなく家根に昇り瓦を損ずること多し夫々御取締あつて然るべし(被害者)▲下女雌の竪はこれから先寒くなるに連れて起つて參りますそしてお給金も仲々お廉くありませんこれ等は何んとかして朝鮮婦人の正直なのを供給して頂く譯には行きますまいか少し志のある方があつて此お世話をして下さるれば立派な社會事業だと存じますのですが(倭城臺の女)

毛皮なめし 京城本町二丁目 毛皮、靴、スリッパー商 日東商會 電話二一〇〇番 振替京城一一九

子宮病血の道とリウマチスに悩む人は

彼れ是こ迷を無く眞に能く効く 神仙湯を

御一刻試みよ現に………
◉烈しき神經痛で惱みし人
◉頑る難治のリウマチスの人
◉數年固疾の疝氣で苦しみし人
◉百法効なき子宮病の婦人
◉常に悲しむ血の道の婦人
◉多年惱めるヒステリーの人
◉不治の慢性胃腸らめし人

なぞか此良藥神仙湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉しさの餘り懇篤な禮狀(現在保存し御覽に供す)を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に悩む人あらば輕症ご難症の論なく即刻試よ神仙湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

躰質改良劑

●こんな徴候の人
胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等つり、腫、しびれ又は筋張痛●彼處此處と移動し●何となく怠く●腹張差込●腹なり胸つかゑ●溜飲●食進まず又は進過ぎ●便秘又は下痢●頭痛●寒氣●逆上●血眼●目暈●耳鳴●頭痛●齒痛●頭重く肩凝●腹に力なく●腰足冷へ●夜眠られず●根氣薄らぎ記憶あしく●氣鬱●癇高ぶり●物事に感じ易く●顔手足の浮腫等の疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に悩む人は片時も早く神仙湯を試みよ

藥價 半週卅五錢●一週六十錢●二週一圓十錢●三週一圓六十錢●四週二圓五十錢●十週五圓●試用分十錢●廿錢

本舗 名古屋市東區京町二丁目 製劑販賣 荒川長太郎 電話四千百二十七番 振替大阪二三一九五番

京日案内

普通一回前金一行名一回毎に三十錢 番外六十錢 一五錢增無割引 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◉店員募集◉藥に經驗のある者 履歴書携帯本人來談あれ 南大門正面 救世藥舗 523

▼古本古樂器の不用品は絕大の信用ある 本町二●電二五二七●ウツボヤ書店 427

◉至急電話讓受たし 讓渡希望者ハ電話五八四番に申込あれ 519

◉金融 月收の御方へ信用秘密融通 便宜立替御報伺又御來宅 大和町三ノ三二梅澤前 起木屋 516

◉行商婦人募集 市内に於て石鹸粉行商希望の婦人は來談あれ 蓬萊町四丁目東亞牧場 電五二一二 513

◉乳飲兒預りたし 先月出産して乳澤山出ます 太平通二丁目八九 松本古着店へ御來談を乞ふ 511

古本なら野村 買入誠實御報參上 明治町筋 電二六三 野村書店 431

◉店員募集 呉服商經驗有る者廿一より廿四五歳迄一名十四五歳の小僧一名 望者履歴書送れ 春川大和屋 496

番外

毛ブラシ 製造 京城大和町一丁目(日出橋角) 岩崎商會 494

田舍行 貨物取扱 驛馬運搬 ▲春川原州 忠州驪州 京城鍾路通五 東大門内 友田運送部出張所 電話駒馬部二八〇六 城道部一二八二 522

開店大賣出し 本町三丁目六番地(魚市場筋向ひ) 十月十一日より五日間 正札屋古着店 510

貸家 二二五ノ七、八號二棟 一階建下宿向 平家住宅向 同上 一二七ノ二號一棟 日一 一五ノ一號 京城吉野町一丁目 中村 520

産婆 小倉松野 電話移轉 電話一、三七二(藤井市郎共用) 鍾路通一丁目四五 518

宅地放賣 沿ひ官吏會社員商店向 市内笠井町市區改正道路に地數ヶ所 あり希望の方は至急申込あれ 差配人 南大門通三輪商店 506

◉京城春川間毎日午前八時出發 自動車賃金片道四圓 南大門通一丁目 廣橋自働車 主務 金正淵 電話二一九番 428

病人輸送設備有之候 寢臺車 普通病用 傳染病用 各別々に 京城本町二丁目電話百十六番 京城醫師會御用 前山組 418

銅線纖 魔法瓶中瓶取替 柳製専賣鞄 其他色々 京城本町一丁目 高木旅行用具店 447

▲各種 鑛物分析 京城太平通二の二三〇元朝陽分拆所 電話二八二三 松永分拆所 448

▲恩給 年金 低利 長期即金 ▲地方同業店取扱 債權特別低利讓受 京城永樂町一 商品陳列館前 江州屋本店

◉銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 増戸銃砲店 488

▲▲ほね筋たがい、肉ばなれ、さし込乳ばれ、歯いたみ、せん氣、婦人血の道、神けい痛、もみ療治にて骨つぎ等致します▲京城義州通り二丁目六一 氏原内 廣瀬あさの 492

有給外務社員採用 京城鍾路通一丁目二十二番地 日本國債債券株式會社 朝鮮總支部 493

◎新派 舊劇 演劇衣裳貸元 餘興 舞踊 其他さらゑ衣裳類安く貸します 御報次第參上仕候 黄金町四ノ二三 三浦屋 507

電話開通御披露 京城府大平通二丁目太平門側 電話 二九一三 諸紙 文房具商 高橋支店 508

店員入用 年齡廿歳以上廿五歳迄甲種商業學校卒業程度 履歴書携帯本人來談あれ 但し市外身元保證人を要す 京城旭町二丁目 朝日石鹸製造所 512

新刊書御案内

書名	著者	定價
◉平野國臣傳記及遺稿	平野國臣顯彰會	二五〇
◉本邦鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響 上中下附圖	鐵道院	二〇〇
◉露國研究	戰後經濟學術研究會	一〇〇
◉立儲要義	手塚應太郎	八〇
◉男女性決定論	大塚蘇山	一三〇
◉大日本史改造論	井川巴水	七五
◉大僧正天海	須藤光暉	一二〇
◉地理教授の方法及内容の研究	牧口常三郎	一五〇
◉祝賀弔祭演說	大町 馬場共	一五〇
◉作文講話及文範縮刷	芳賀 杉谷	一四〇
◉書簡文講話及文範(縮刷)	同	特一三〇
◉現代名家書翰集	富山房編	一〇〇
◉論語と算盤	澁澤榮一	二〇〇
◉事務の取扱方	芦川忠雄	一二〇
◉修養訓話成功	山田渡汐	一二五
◉變の季	三島霜道	一〇〇
◉代數學學び方考へ方と解き方 上下	藤森良藏	七〇 六〇
◉新式圍碁寶典第三	鈴木為次郎	七〇
◉開井先生布石攻合法	中川龜三郎	一二〇
◉はじめて手引 將棋寄謀	小野五平	四〇
◉受驗必携法律問答	坂上桐吉	四〇
◉朝鮮行政法規大意	渡邊大倉共著	四〇

大阪屋號書店 京城本町 電話六八四 振替京城二五七

亡父 山田萬策 葬儀の節は遠路御會葬被成下難有存候略儀紙上を以て御禮申上候 大正五年十月十三日
親族總代 小林善三 鈴木萬次郎 佐藤小五郎
友人總代 唐川立造 田中五郎吉 清水繁太郎

尼崎汽船仁川出帆
〇君が代丸 十月 日後四時 大阪直行
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
〇大有丸 十月十八日後四時出帆
〇神代丸 十月廿五日後四時出帆
〇秀吉丸 十一月廿二日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
第十一共同丸 十月十五日正午出帆
〇芝罘、大連行 關東都督府命令航路
朝鮮鐵道主要驛にて荷客通し輸送取扱仕候 大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同取扱
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部 春日町(電話二四四七番)
京城取次店 市内門(電話二六八〇一七) 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
〇立神丸 門司、神戸、大阪行 月 日後五時出帆
〇立神丸 元山、清津、浦鹽行 月 日後十時出帆
〇小倉丸 元山、城津、浦鹽行 月 日後十時出帆
〇第三琴平丸 元山、西湖、新浦、城津、清津行 月 日後六時出帆
〇第三琴平丸 門司、宇品、神戸、大阪行 月 日後六時出帆
〇天眞丸 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
〇全羅丸 十月廿八日 〇京畿丸 十月十八日 〇黄海丸 十月廿日 〇咸鏡丸 十月十三日 門司より釜山各港寄港雄基間航路 釜山發
〇穩城丸 十月十九日 〇昌平丸 十月十七日 〇鏡城丸 十月十四日 元山より各港經由雄基行 元山發
〇忠清丸 十月二十日 〇平壤丸 十月 日 城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行 元山發
〇盛德丸 十月 日 廿浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發
〇江陵丸 〇襄陽丸 毎日 長生浦方魚津寄港 釜山 浦項發
〇三浦丸 十月 日 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港 釜山發
〇海州丸 〇統營丸 〇巨濟丸 〇慶寶丸 毎日 各港經由麗水行(三日目一回水浦行) 釜山發
〇順天丸 三日目毎ニ 各港經由麗水より釜山行に接續 木浦發
〇慶興丸 十月十七日 各港經由濟州島行西廻 木浦發
〇慶興丸 十月 日 南多島、海列島行(月三回) 木浦發
〇公州丸 十月十四日 各港經由濟州島行(東廻) 木浦發
〇宗信丸 十月十七日 海州他各港經由、德洞又は白翎島行 仁川發
〇江原丸 十月十八日 青島、大連、芝罘行 仁川發
〇鹿水丸 〇晉州丸 十月 日 十月十八日 各港經由木浦行 仁川發
〇全州丸 〇南陽丸 毎日午前 江華島、喬桐島、海州行 仁川發
鐵道會社及社外船と荷客運絡輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願候 本社 電話長一九五二番二三一番 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一一七〇番)

大阪商船仁川出帆
〇外航路所屬船舶並に連絡船の日は五分引を以て連絡切符發賣仕候
〇群山、木浦、釜山、關門、神阪行 ×天智丸 十月廿一日 ×安東丸 十月十四日 ×漳州丸 十月廿四日 後五時出
〇木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行 ×信濃川丸 十月二十日 ×信濃川丸 十一月七日 後二時出
〇群山、釜山、橫濱行 △福州丸 十一月三日 △潮州丸 十月廿一日 後二時出
〇木浦、關門、神戸、大阪行 ×漳州丸 十月十三日 後二時出
〇釜山、橫濱行 △福州丸 十月九日 正午出帆
〇鎭南浦、大連行 ×信濃川丸 十月十五日 ×信濃川丸 十一月二日 後二時出
〇大連直行 △福州丸 十月廿八日 △潮州丸 十月十七日 正午出帆
〇鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 ×薩摩丸 十月十六日 正午出帆
〇清津、浦潮行(元山出帆) ▲印八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 安平丸 十月廿六日 ▲宮島丸 十一月一日 後二時出
〇上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十月廿七日 後四時出 湖北丸 十月十六日 前六時出
御注意 ◉朝鮮鐵道及南滿洲鐵道連絡切符發賣仕候 ◉南滿洲鐵道會社との船車連絡一時間前迄に限り客荷物の可成乘船を▲印は船客御斷り ×印は一等
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二一、番五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番
◉中國四國並に各港船客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

商況

下關期米特電 十三日後場(天候曇)

大阪期米(十三日) 後場公認寄付十四圓四十二錢△中限寄付十四圓六十九錢△先限寄付十四圓九十七錢

大阪三品特電

仁川米豆取引所 ▲十三日後場 …東京十四圓八十二錢東京十四圓六十五錢大阪四十四圓八十五錢夜寄九十錢…

▲言能く賣る ①の商内 ②の商内 安値頭合せ ▲大阪特報

出來高 寄付 止高 安値